

I. ウェビナー記録

1. プログラム

ウェビナー 「日本とトルクメニスタンの貿易・投資関係のさらなる発展の可能性」 プログラム

- ◆日 時： 2022年2月16日（水）14:00～15:00（トルクメニスタン時間10:00～11:00）
◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会、在日トルクメニスタン大使館
◆協 力： 経済産業省、日本トルクメニスタン経済委員会、トルクメニスタン商工会議所
◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (トルクメニスタン時間)	プログラム
14:00-14:06 (10:00-10:06)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
14:06-14:11 (10:06-10:11)	◆日本側来賓挨拶 都梅 博之 日本トルクメニスタン経済委員会 会長／ 伊藤忠商事(株) 常務執行役員、機械カンパニープレジデント
14:11-14:20 (10:11-10:20)	◆「トルクメニスタン国営商品・原料取引所一輸出入業務の規制プラットフォーム」 セルダル・ベルディエフ トルクメニスタン国営商品・原料取引所 分析・新技術部門長
14:20-14:26 (10:20-10:26)	◆「トルクメニスタン繊維産業の輸出ポテンシャル発展に関する情報」 アマンゲリディ・ヌルリエフ 公開型株式会社「トルクメンドクマ」 副社長
14:26-14:35 (10:26-10:35)	◆「トルクメニスタン石油分野の概要」 セルダル・ピリエフ 国営コンツェルン「トルクメンネビット」 国際協力・投資プロジェクト部長
14:35-14:44 (10:35-10:44)	◆「国営コンツェルン『トルクメンガス』のガス化学・ガス精製コンプレクスプロジェクト実現の方向性」 アマン・ハシエトフ 国営コンツェルン「トルクメンガス」 ガス精製部門主任専門家
14:44-14:53 (10:44-11:53)	◆「国営コンツェルン『トルクメンヒミヤ』の発展の展望」 ユーリー・マラムハ 国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」投資・資本建設副部長
14:53-15:00 (10:53-11:00)	◆日本側コメント 仙場 章彦 双日(株) インフラ・ヘルスケア本部 エネルギー・産業インフラ事業部 担当部長
15:00 (11:00)	◆閉会

ウェビナー 「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第1部」 プログラム

- ◆日 時： 2022年2月16日（水）15:30～17:00（トルクメニスタン時間11:30～13:00）
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会、在日トルクメニスタン大使館
- ◆協 力： 経済産業省、トルクメニスタン商工会議所
- ◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (トルクメニスタン時間)	プログラム
15:30-15:33 (11:30-11:33)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
15:33-15:40 (11:33-11:40)	◆企業体「Deryaplastik」 「Deryaplastik社の活動」 ロフシャン・ムハメトヌロフ 社長
15:40-15:44 (11:40-11:44)	◆企業体「Owadan Ulke」 「トルクメニスタン初の国産原料マーガリン生産者」 マディナ・ガディミ 貿易部長
15:44-15:50 (11:44-11:50)	◆企業家レジェプムィラト・オラゾフ（商標『Taze Ay』） 「『Taze Ay』 甘い夢の国」 メカン・オラゾフ 主任会計士
15:50-15:55 (11:50-11:55)	◆個人企業「Mekan」 「『Mekan』のお菓子ーテイストパワー」 アルスラン・アタエフ 製造部長
15:55-16:00 (11:55-12:00)	◆企業家ムハメト・アマノフ（商標『BARS』） 「ブランド『BARS』について」 バイラム・アマノフ 製造部長
16:00-16:02 (12:00-12:02)	◆企業体「Duygy」 「わたしたちはスイートエモーションがどのように作られるか知っている」 パリヴァン・バイラムサヘドフ 技術者
16:02-16:06 (12:02-12:06)	◆「Doganlar Yyldyzy」 「スイーツを手に、人生をもっと甘く」 アルチョム・アルギン デザイナー、販売マネージャー
16:06-16:11 (12:06-12:11)	◆個人企業「Rowshen」 「一步一步の快適さ」 メルゲン・ムハメトグリエフ 輸出マネージャー
16:11-16:18 (12:11-12:18)	◆日本側コメント 高橋 渉 (株)Deloitte & Touch CIS ジャパンサービスグループ パートナー
16:18-16:45 (12:18-12:45)	◆質疑応答／閉会

ウェビナー
「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第2部」
プログラム

- ◆日 時： 2022年2月17日（木）14:00～15:00（トルクメニスタン時間10:00～11:00）
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会、在日トルクメニスタン大使館
- ◆協 力： 経済産業省、トルクメニスタン商工会議所
- ◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (トルクメニスタン時間)	プログラム
14:00-14:03 (10:00-10:03)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
14:03-14:07 (10:03-10:07)	◆個人企業「Berk Gerden」 「改質ビチューメンからの防水材の製造」 メルダン・メレドフ チーフマネージャー
14:07-14:17 (10:07-10:17)	◆運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」 「『Hazar-Tolkuny』—トルクメニスタンにおけるあなたのフォワード—」 セルダル・アシロフ 副社長
14:17-14:21 (10:17-10:21)	◆個人企業「Yyndam yollar」 「『Yyndam yollar』—あなたの信頼できるパートナー—」 ゲルディムィラト・フダイベレノフ 輸送部長
14:21-14:26 (10:21-10:26)	◆企業体「Terne Logistics」 「最高の物流パートナー」 アイグリ・アクマメドヴァ 物流担当部長
14:26-14:38 (10:26-10:38)	◆日本側コメント 西澤 善弘 伊藤忠商事(株) アシガバッド事務所長
14:38-15:00 (10:38-11:00)	◆質疑応答／閉会

ビデオツアー
「トルクメニスタン3企業へのバーチャル訪問」
プログラム

- ◆日 時： 2022年2月17日（木）15:10～16:20（トルクメニスタン時間11:10～12:20）
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会、在日トルクメニスタン大使館
- ◆協 力： 経済産業省、トルクメニスタン商工会議所
- ◆言 語： 日露同時通訳／◆会議システム：Zoom

日本時間 (トルクメニスタン時間)	プログラム
15:10-15:12 (11:10-11:12)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長
15:12-15:17 (11:12-11:17)	◆企業体「Ak Bulut」紹介ビデオ
15:17-15:20 (11:17-11:20)	◆個人企業「Ak-Gaya」紹介ビデオ
15:20-15:27 (11:20-11:27)	◆プレゼンテーション「『GAYA』—快適さと高品質の統合」 ドブレト・アジゾフ 社長補佐
15:27-15:35 (11:27-11:35)	◆質疑応答（ライブ） ドブレト・アジゾフ 社長補佐
15:35-15:41 (11:35-11:41)	◆プレゼンテーション「Ak Bulut社の歴史」 アタムラト・モマドフ 販売マネージャー
15:41-15:48 (11:41-11:48)	◆質疑応答（ライブ） アタムラト・モマドフ 販売マネージャー
15:48-15:54 (11:48-11:54)	◆企業家アシラリエヴァ・シェムシャト（商標『Cigildem』）紹介ビデオ
15:54-15:57 (11:54-11:57)	◆プレゼンテーション「高品質で快適なわたしたちの家具」 オラズタチ・フダイヤロヴァ 販売マネージャー
15:57-16:05 (11:57-12:05)	◆質疑応答（ライブ） オラズタチ・フダイヤロヴァ 販売マネージャー
16:05-16:08 (12:05-12:08)	◆閉会

2. 報告・コメント・質疑応答

◆ウェビナー「日本とトルクメニスタンの貿易・投資関係のさらなる発展の可能性」

(1)セルダル・ベルディエフ トルクメニスタン国営商品・原料取引所 分析・新技術部門長 報告「トルクメニスタン国営商品・原料取引所—輸出入業務の規制プラットフォーム」

トルクメニスタン国営商品・原料取引所は、1994年7月29日付トルクメニスタン大統領令により設立され、輸出入業務の国家規制の主体としての機能を果たしている主要実施機関である。当取引所の整備されたメカニズムは、国際的な経済システムにうまく統合されている。

当取引所の課題と目的は、取引に参加する外国人ビジネスマンおよびトルクメニスタンの企業家に平等な条件の提供、貿易高の増大および加速、必要な消費財や国民経済の近代化を目的とする産業・技術製品・設備の国内市場への供給である。

当取引所の専門家は、製品の輸出入の妥当性を評価し、製品の輸出入に影響を与える様々な要因を分析している。「商品・原料取引所に関する」トルクメニスタン法に基づき、企業や組織、トルクメニスタン人や外国人は、ブローカーの権利を取得するか、あるいは取引所のブローカーとサービス契約を締結することにより取引所の取引に参加できる。

現在、当取引所では国産品が取引されており、トルコ、中国、ロシア、アラブ首長国連邦、ドイツ、米国、イギリス、ウクライナ、スイスなど40カ国以上に輸出されている。主な輸出品目は、石油製品、綿繊維、繊維製品、化学製品などとなっている。

2020年1月31日、深く尊敬するグルバングリィ・ベルディムハメドフ大統領は、『2020～2025年の国営商品・原料取引所の活動改善戦略』を、取引と文書管理のデジタル化を含むその実施計画とともに承認した。そのため、当取引所の専門家は、この分野に外国資本を誘致し、国内外の生産者と消費者の関係を構築し総合的に発展させ、トルクメニスタン製品の外国市場へのプロモーションにとって好ましい条件を整え、国家機関や民間企業向けの製品の輸入を分析している。これらはすべて、深く尊敬するグルバングリィ・ベルディムハメドフ大統領が対外経済活動発展のために設定した課題の解決に寄与し、生産を活性化するものである。

トルクメニスタン大統領主導により開催された「第1回カスピ海経済フォーラム」において国際規格ISO 9001の認証が授与されたことは、重要な出来事の1つである。これは当取引所において、国際標準化機構の要件を満たす品質マネジメント・システムが正常に機能していることを証明している。

トルクメニスタンでは民間セクターの発展、国民経済における民間セクターのシェアの拡大に高い関心が寄せられている。そのため当取引所はさらなる改善として、①電子取引、②国家・企業調達、③商業市場の発展の3つの分野における卸売市場の発展を目指している。また、「電子文書管理システムの整備」、「取引および入札の電子プラットフォームの構築」、「国や企業用の商品、技術、サービスのオンライン調達」、「近代的な取引所サービスの導入」などの作業も進められている。



(2)アマンゲリディ・ヌリエフ 公開型株式会社「トルクメンドクマ」副社長 報告「トルクメニスタン繊維産業の輸出ポテンシャル発展に関する情報」

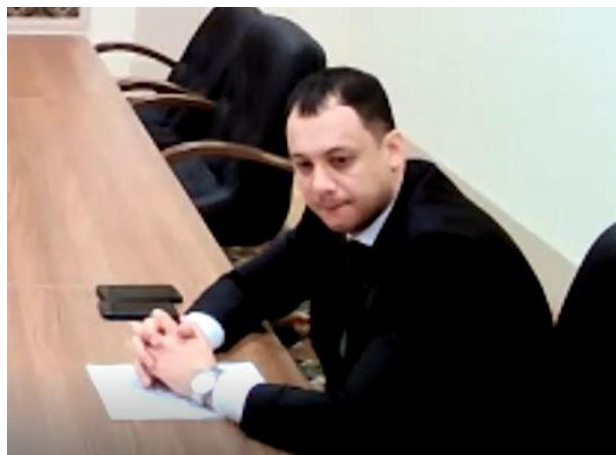
深く尊敬するグルバングルイ・ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領の経済の安定的発展に向けた尽力により、繊維産業はトルクメニスタン経済の優先分野の1つとなっている。繊維産業の安定的発展のために必要な全ての条件が整っており、この方向での作業が継続されている。

目的にかなった国の政策の結果、繊維産業分野では短期間にかなりの生産力が創出された。独立後、繊維産業分野では30以上の投資プロジェクトが遂行され、その結果、最先端の生産性の高い設備を備えた数十の近代的な工場が稼働している。現在、トルクメニスタンの繊維産業では、繊維複合企業、綿紡績・織物工場、縫製工場、皮革工場、製靴工場など60以上の企業が活動している。

繊維産業分野の企業では、様々な綿糸や混紡糸、綿の生機、綿織物、ニット生地、タオル生地、タオル製品、デニム生地、様々な混紡生地、それらの生地から作られる縫製・ニット製品が生産されている。また、トルクメニスタン繊維工業省の企業では洗毛済み羊毛、皮革原料、靴、医療用および化粧用コットン製造用の漂白綿繊維を生産している。

外国企業の参加で設立された合弁企業では、品質、マネジメント、マーケティングの最新の国際規格の要件を満たす製品が生産されている。現在、繊維製品の約70%がトルコ、ロシア、ベラルーシ、ウクライナ、ポーランドなどに輸出されている。また、繊維工業省の企業は繊維製品の販売において外国の商社と緊密に協力している。トルクメニスタンの繊維分野のさらなる発展のため、外国企業との広範な協力関係が構築、継続されている。

トルクメニスタンの企業は、日本や欧州諸国の大手メーカーの技術設備を備えている。最新技術の導入とともに、製品の品質向上や環境安全の要件準拠も重要視されている。主要企業の製品は国際的な評価を得ており、「生産および品質マネジメント・システム」に関するISO9001



認証、ならびに「環境保護」に関するISO 14001認証を取得している。

国際品質規格を満たしたこれらの企業の製品は、国際的な企業の関心を集めている。また、モダンでありながら伝統的なラインアップを生産する「Nusay」、「Bedev」、「Gala」などのブランドが輸出高を伸ばしている。

シルクロードの時代に生まれ、諸大陸の民族間の交易関係を善隣関係に変えた文化的協力を維持し発展させながら、我が国は工業製品の輸出を中心とする対外経済活動を活発化している。我が国の平和と信頼の時代において、グルバングリィ・ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領の繊維産業発展計画実現のための主な課題は、外国投資のさらなる誘致、綿繊維の加工量の増加、繊維産業分野の雇用創出、生産への先進技術およびイノベーションの導入、パートナーや投資家との互恵的協力のさらなる拡大である。

現在、『2019～2025年の社会経済発展に関するトルクメニスタン大統領プログラム』の枠内で、アハル州のカカ地区およびババダイハン地区で紡績、機織り、染色・仕上および縫製工場から成る新しい繊維複合施設が稼働している。

以上のように、トルクメニスタンの繊維企業は高品質の繊維製品を供給する大きな可能性がある。トルクメニスタン繊維工業省を代表し、ご関心をお持ちいただいた皆様に、繊維産業分野において長期互恵的協力の構築およびトルクメニスタン繊維製品の国際市場へのプロモーションのため、トルクメニスタンの繊維企業を知っていただきたいと願っている。

この分野の企業では、様々な綿および混紡の糸、綿の生機あるいは織物、ニット生地、タオル生地あるいは製品、デニム生地、様々な混紡生地、それらの生地を使った縫製・ニット製品が生産されている。また、トルクメニスタン繊維工業省の企業では水洗羊毛、皮革原料、靴、医療用および化粧用コットン製造用の漂白綿繊維を生産している。



国際品質規格を満たしたこれらの企業の製品は、国際的な企業の関心を呼んでいる。またモダンでありながら伝統的なラインナップを生産する「Nusay」「Bedev」「Gala」などの国内ブランドが輸出高を伸ばしている。



NUSAY



Yeniş



現在、「2019～2025年の社会経済発展に関するトルクメニスタン大統領プログラム」の枠内で、アハル州のカカ地区およびババダイハン地区で紡績、機織り、染色・仕上および縫製工場から成る新しい繊維複合施設が稼働している。

KAKA DOKMA TOPLUMY



BABADAYHAN DOKMA TOPLUMY



(3)セルダル・ピリエフ 国営コンツェルン「トルクメンネビット」国際協力・投資プロジェクト部長 報告「トルクメニスタン石油分野の概要」

トルクメニスタンの石油・ガス分野は我が国の経済で主要な役割を担っている。炭化水素資源の埋蔵量が豊富なトルクメニスタンは世界有数のエネルギー大国である。トルクメニスタンのエネルギー政策の主な課題は、国民経済の多角化、石油・ガス生産の拡大、石油製品やガス化学製品の生産品目の拡大、世界市場へのエネルギー資源の輸出拡大である。

トルクメニスタンの石油・ガス分野に課された課題の解決に、トルクメニスタンの石油・ガスコンプレクスにおける最大級の国営コンツェルンの1つである「トルクメンネビット」が特別な役割を担っている。「トルクメンネビット」は様々な分野の数十の企業を統合し、炭化水素鉱床の探査から石油・ガスの生産、輸送まで石油事業の全工程を行っている。「トルクメンネビット」の傘下には科学研究所、設計研究所、石油ガス採掘企業、各種自動化サービス、資材・技術サービス、石油設備修理工場、その他の多くの企業がある。

「トルクメンネビット」の主要な活動はトルクメニスタン西部に集中している。この地域は19世紀終わりから石油の生産が行われている世界最古の石油地域である。現在、「トルクメンネビット」の石油資産は、様々な開発段階にある30カ所以上の油田・ガス田に集中している。

「トルクメンネビット」は世界有数のメーカーの最新掘削装置・設備を備えており、近年、炭化水素鉱床探査ため大深度坑井掘削を行っている。数年前にウズィナダ鉱床に中央アジア地域で最も深い深度7,150mの坑井を掘削した。この坑井からは1日当たりコンデンセート200t、天然ガス50万m³がとれる。現在、この他のいくつもの坑井でも、同様の結果が得られている。カスピ海の大陸棚から近いこの鉱床を発見したことは、トルクメニスタンの陸域だけでなく、カスピ海の大陸棚に新たな鉱床を発見する可能性を拡大させ、炭化水素探査に広い展望を開いたと強調したい。



国際的な専門家およびトルクメニスタンの地質学者の評価によると、カスピ海のトルクメニスタン・セクターの炭化水素資源の推定埋蔵量は、石油 121 億 t、ガス 6.1 兆 m³とされる。カスピ海の大陸棚のナショナルセクターは 32 のライセンスブロックに分割されており、そのうち 5 ブロックは、締結された協定により石油プロジェクトが遂行されている。カスピ海ライセンスブロックの炭化水素資源開発は、トルクメニスタンが外国の直接投資を歓迎する優先分野の 1 つである。

トルクメニスタンで実施されている改革は、世界基準をトルクメニスタン経済に導入し、外資誘致のため良好な投資環境づくりを目指している。トルクメニスタンの投資イメージをさらに向上させるため、政治的・社会的安定、持続可能な経済成長、法の整備、関連インフラの整備に重点を置いている。

我々は日本が素晴らしい財政的、技術的なポテンシャルを有していることを良く知っている。トルクメニスタンと日本は、投資分野、様々な分野のプロジェクト、共同活動の新たな有望な分野の発展を含め、パートナーシップ拡大の大きなポテンシャルがある。

我々は日本の経済界がより緊密な協力関係を構築しようとするイニシアチブと準備に深い感銘を受けており、本日のような対話が、両国間の互恵的協力関係の構築に寄与すると信じている。

カスピ海トルクメニスタンセクターにおける 投資プロジェクトと炭化水素資源開発



「炭化水素資源に関する」トルクメニスタン法および生産物分与協定の枠内において、トルクメニスタンはカスピ海およびトルクメニスタンの陸上における一連の投資プロジェクトの実施に協力している。

2020年7月1日から発効した「炭化水素資源に関する」トルクメニスタン法の改正により、現在は採掘だけでなく、採掘した石油・ガスの加工も可能となった。

カスピ海の炭化水素資源の開発は、トルクメニスタンが外国投資を歓迎する優先分野である。

4

(4)アマン・ハシエトフ 国営コンツェルン「トルクメンガス」ガス精製部門主任専門家 報告「国営コンツェルン『トルクメンガス』の ガス化学・ガス精製コンプレクスプロジェクト実現の方向性」

国営コンツェルン「トルクメンガス」は世界有数のエネルギー企業の1つであり、天然ガスの探鉱、採掘、処理、輸送、加工を行っている。トルクメニスタンの天然ガス埋蔵量は世界第4位を占める。エネルギーの大きな可能性を秘める我が国は、環境にやさしい燃料を世界市場に輸出するためインフラの整備を行っている。この分野で実施されているプロジェクトは、地域および世界のエネルギー安全保障において重要な役割を果たしている。

深く尊敬するグルバングルイ・ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領は、次のことを指摘している。燃料・エネルギーコンプレクスの生産および輸出のポテンシャルをより効果的に実現する必要がある。そのためには国内外の市場で需要の高い炭化水素を原料とした競争力の高い製品の生産品目を拡大するため、化学工業の発展に特に重点を置く必要がある。また、優先事項として、地質調査の迅速化、確認されている炭化水素埋蔵量の特定、ガス化学コンプレクスへの外国投資の積極的誘致、有望なガス田・油田の開発スピードの加速、トルクメニスタン産燃料輸出の海外市場拡大、TAPI（トルクメニスタン～アフガニスタン～パキスタン～インド）ガスパイプラインの建設を挙げている。

トルクメンガスが計画中の投資プロジェクトは、①天然ガス年間生産量 330 億 m³ のガルキニシュ・ガス田開発の次期段階プロジェクト、②ポリ酢酸ビニルを生産するダショグズ州のガス化学工場建設プロジェクト、③スチレン・ブタジエンゴムおよびポリスチロールを生産するレバプ州のガス化学工場建設プロジェクトがある。

1 つ目のガルキニシュ・ガス田についてご紹介する。我が国が世界有数のエネルギー大国であることは、トルクメニスタンの地質学者による最大の発見の1つであるガルキニシュ・ガス田の天然ガス埋蔵量の評価によって確認されている。このことはイギリス企業 Gaffney, Cline & Associates によっても確認されている。このように、トルクメニスタンは世界最大級の天然ガ



ス埋蔵量を有し、世界第4位を占めている。現在、商業用ガス年間生産量 300 億 m³ の産業設備が稼働しており、TAPI（トルクメニスタン～アフガニスタン～パキスタン～インド）ガスパイプラインが建設中である。

2 つ目は、トルクメニスタン北部に位置するダショグズ州のポリ酢酸ビニルを生産するガス化学工場建設プロジェクトである。原料のガスの設計供給量は年間 18 億 m³、ポリ酢酸ビニルを生産するガス化学工場の主要原料はエタンガスである。エタンガスの設計使用量は年間 9 万 4,500 t である。ガス化学工場のポリ酢酸ビニル製品の年間生産量は 7 万 1,200 t、ポリ酢酸ビニル製品は建設や発電などの分野で使用される。

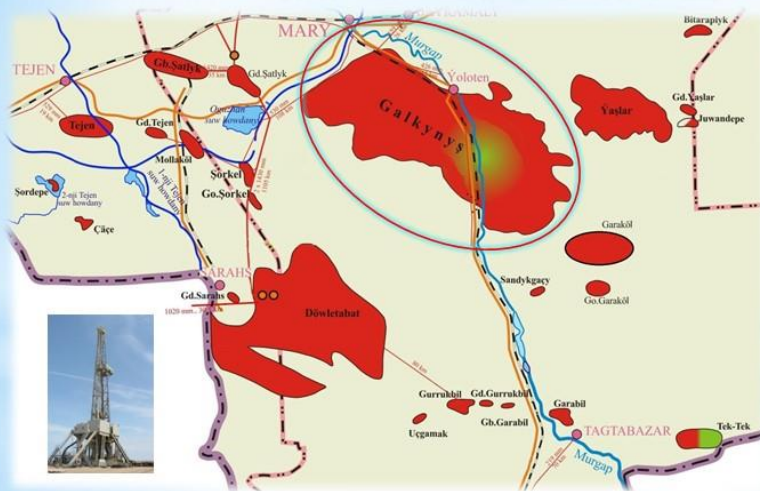
3 つ目の投資プロジェクトは、レバプ州のブタジエン・スチロールおよびポリスチロールを生産するガス化学工場の建設である。ブタジエン・スチロール製品はタイヤなどゴム製品の原料で、機械やゴムの製造工場で幅広い使用が可能である。ポリスチロール製品は、食品容器、建設資材、農産物、その他の製造工場でより幅広い使用が可能である。スチレン・ブタジエンゴムおよびポリスチロール生産ガス化学工場の主な原料はエタンガスとベンゼンである。ガス化学工場に必要な年間 5 万 4,000 t のエタンガスは、隣接するバガジャ液化ガス製造施設の装置を改修することによって供給され、年間 3 万 t のベンゼン製品はセイジ製油所から供給されることになっている。

日本の皆様と互恵的協力関係を構築することを願っている。

計画中の投資プロジェクト

プロジェクト名称	場所	生産力
ガルキニシュ・ガス田 開発の次期段階	トルクメニスタン、 ガルキニシュ、マルィ州	天然ガス年産330億立米
ガス化学工場	トルクメニスタン イルィランディ、 ダショグズ州	ポリ酢酸ビニル年産 7 万1,200 t
ガス化学工場	トルクメニスタン、 セイジ、レバプ州	スチレン・ブタジエンゴム年産 6 万 t 、ポリスチロール 2 万5,000 t

ガルキニシュ・ガス田



我が国が世界有数のエネルギー大国であることは、トルクメニスタンの地質学者による最大の発見の1つであるガルキニシュ・ガス田の天然ガスの埋蔵量および資源量の評価によって確認されている。このことは英国の独立企業 *Gaffney, Cline & Associates* によっても確認されている。このように、トルクメニスタンは世界最大級の天然ガス埋蔵量を有し、世界第4位を占めている。



ポリ酢酸ビニル製品は建設、発電などの分野で使用される



ブタジエン・
スチロール製品



ゴム製品



タイヤ

ブタジエン・スチロール製品は機械やゴムの製造工場で幅広い使用が可能



ポリスチロール製品



建材



電気技術製品



食品容器

ポリスチロール製品は、食品容器、建材、農産物その他の製造工場で幅広い 使用が可能

(5)ユーリー・マラムハ 国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」投資・資本建設副部長 報告「国営コンツェルン『トルクメンヒミヤ』の発展の展望」

トルクメニスタンの経済モデル、国家元首が主導する大規模な改革、積極的な投資政策により、国内の根本的な構造変革および社会のあらゆる分野において前進が可能になった。世界経済への統合を目指すトルクメニスタンは、今日ダイナミックに発展する国々のランキングにおいて確固たる地位を占めている。

我が国の国民経済において最も大きく発展している分野の1つが化学産業であり、国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」がその基盤を形成している。「トルクメンヒミヤ」は様々な化学製品を製造する11の企業を傘下に置く。過去10年間の化学分野への投資額は84億米ドル以上にのぼる。この短期間に次の施設が建設された：

- キャンルィのポリマー製造工場
- アハル州のガスからガソリンを製造する工場
- マルィ市とガラボガズ市のアンモニア尿素工場、ガルリィクのカリウム採鉱場
- トルクメンバシ化学工場内の硫酸製造ラインその他の施設

この10年で鉱物肥料の生産能力だけでも3倍以上に増加した。

国は国民経済の戦略的部門の1つとして化学産業の発展を重視しており、そのことは『2019～2025年までの社会経済発展トルクメニスタン大統領プログラム』に反映されている。同プログラムは、窒素・リン肥料、ヨウ素・臭素製品、苛性ソーダ、塩素を製造する新工場の建設、ガラボガズ湾の海洋鉱物資源の総合開発など、有望な投資プロジェクトの実施を想定している。

トルクメニスタンは天然ガス埋蔵量で世界4位を占めている。そのため、化学産業の優先課題の1つは、天然ガスを国民の利益のために最大限効率的に利用することである。この戦略的に重要な課題の解決のため、国内外の市場で需要の高い、様々な高品質製品の生産を可能にする最新技術に基づく天然ガスの高度加工の新施設を建設することになっている。

この分野の有望な方向の1つが水素の製造である。現在、先進国は化石燃料の使用を徐々に減らしており、環境にやさしいエネルギー源に転換する必要がある。水素がそのような代替手段になりつつある。先進国の水素利用の戦略的展望は、温室効果ガス排出量を削減する低炭素・水素エネルギー技術の導入に密接に関係している。工業およびエネルギーへの応用と並んで脱炭素化の手段として水素を利用するための最も有望な分野は、交通、冶金、公共部門である。

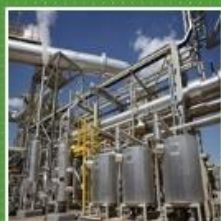
トルクメニスタン政府が実施している輸送インフラの整備、主要な海港を含む国際輸送システムへの輸送インフラ統合の政策は、化学製品の輸出問題の解決に寄与している。これに関連して、「トルクメンヒミヤ」傘下の企業が生産するポリエチレン、ポリプロピレン、環境にやさ

しいECO-93商標のガソリン、顆粒尿素、塩化カリウム、ヨウ素、炭素など化学製品の輸出においても日本との互恵的協力関係構築に深い関心があることをお伝えしたい。

また、高いスキルを持つエンジニアや現場スタッフの育成および再育成における協力にも高い関心がある。

最後に、日本の皆様には、トルクメニスタンの化学産業分野発展の新しい投資プロジェクト実現のためぜひ積極的にご参加いただきたい。今後、互恵的な協力関係に基づき両国のビジネス関係を成功裏に拡大していきたい。





化学製品



ヨウ化カリウム



ヨウ素酸カリウム



カーボンブラック



塩化マグネシウム



苛性ソーダ



工業用ヨウ素



硫酸ナトリウム



化学製品



硫黄



ポリエチレンおよび
ポリプロピレン製チューブ



硫酸



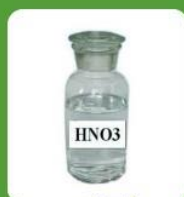
ポリプロピレン



ECO-93



酸素



硝酸



食塩

(6)仙場章彦 双日㈱インフラ・ヘルスケア本部エネルギー・産業インフラ事業部担当部長 コメント

先ず1つ目の国営商品・原料取引所、通称「ビルジャ」についてですが、トルクメニスタン国営企業の主要製品の入札販売を一手に運営しており、製品購入に興味あるバイヤーが大きな関心を持って見ていることは間違いない。私は2014年から約7年間、トルクメニスタンに在住勤務していた間に、国営商品・原料取引所関連の発表情報に注意を向けてきたが、具体的な入札結果、つまり数量、単価、金額、受け渡し条件などについて具体的に公表されていないと認識している。このような入札の結果情報が公表されることで、今後はより多くのバイヤーがビルジャの入札販売に関心をもって参加してくることとなり、より活気のあるものになると期待している。

2つ目の繊維工業について、私はトルクメニスタンでの在住中に、やはりトルクメニスタンは綿花の国であると強く実感した。綿のタオル、ガウンなど厚手の生地で作られた製品はとても使い心地が良く、デザインや色のチョイスも豊富で、とても良いものだと思う。また店頭や産業展示会などで目にした服飾製品や靴などはとても良い出来栄で、いくつか自身のために購入した。綿製品や皮革製品はどれも自然原料からのもの、環境に優しい製品となっている。今後これらの製品が増産され、世界に向けて輸出拡大していくことを期待する。

3つ目の「トルクメンネビト」について、カスピ海の未開の炭化水素資源は有望だと感じる。これまでマレーシア、アラブ首長国連邦、イタリアなどの企業と行っているPSAはどれも成功しているし、今後は更にドストルク鉱区の開発運営について、アゼルバイジャン企業「SOCAR」やロシア企業「Lukoil」と協議が進行していると報道されている。随伴ガスやガスコンデンセートの新ソース開拓で今後のトルクメンネビトの活躍が期待される。

4つ目の「トルクメンガス」について、やはりガルキニシュ・ガス田の既存能力を最大限に発揮すること、そのためのガス田掘削開発を充実させることがトルクメンガスの重要任務と理解する。トルクメニスタンでこれまで新規開発されたキャンルィでのポリエチレン・ポリプロピレンや、アハルでのガソリンは最終製品として手頃な価格で出回り、市民生活の向上や輸出貿易増加に直接つながっている良い例だと実感している。エタンガスの有効利用ということであれば、今後も同様に最終製品ということで、ポリスチロールや塩ビ樹脂が有望だと思う。

最後に「トルクメンヒミヤ」について、最近のトルクメニスタン内部での再編によって、化学プラント運営の専門組織であるトルクメンヒミヤがキャンルィのポリマー工場やアハルのガソリン工場を含めた化学プラント全体の運営を行うことになったのは、1つの画期的な改善と感じられる。トルクメニスタンが保有する巨大な天然ガス原料を活用して、今後とも世界の農

業増産に寄与する尿素肥料の増産が有効、更には新規開発されたカリ肥料や燐酸肥料と組み合わせることで NPK 揃った肥料生産国になることを期待している。



◆ウェビナー「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション: 第1部」

(1)ロフシャン・ムハメトヌロフ 企業体「Deryaplastik」社長 報告「Deryaplastik社の活動」

我が国の企業活動は大いなる高みに達しつつある。トルクメニスタン製品の国際舞台への進出は、尊敬する大統領の指揮のもと輸入代替品および輸出志向の高品質な製品に多大な配慮がなされている証である。本プレゼンテーションでは、国内外で好評を博している当社のプラスチック製品、衛生陶器などの製品をご紹介します。

当社は、トルクメニスタンの高品質プラスチックパイプ、継手、吊り天井、窓枠、日用品、電気ケーブル、衛生陶器のトップメーカーであり、約1,200種類の製品を製造している。

2021年にはトルクメニスタン初の電気温水器の生産工場が稼働し、今年はアルミラジエーターの生産を開始する予定である。当社には500名以上の従業員が勤務している。当社は国産品の主要な輸出企業で、タジキスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、アゼルバイジャン、ジョージア、ベラルーシなどに製品を輸出している。

長年トップの座を占めている秘訣は、最新技術・設備の導入、新たなアイデアの絶え間ない模索、常に丁寧な顧客対応が挙げられる。





長年トップの座を占めている秘訣は
 最新のテクノロジーと設備の採用、
 新たなアイデアの模索、
 そして顧客への気配り

(2)マディナ・ガディミ 企業体「Owadan Ulke」貿易部長 報告「トルクメニスタン初の国産原料マーガリン生産者」

「Owadan Ulke」は2016年にアハル州アク・ブグダイ地区に工場を建設し、稼働を開始した。綿実油の加工工場、マヨネーズ・ケチャップの製造工場、野菜・果物の瓶詰工場があり、新しい事業として、綿実油を原料としたマーガリンおよびチョコレートペーストの製造を行っている。現在は小売用パッケージで生産しているが、将来的には業務用を生産する予定である。

現在、国産の原材料を使用したマリネ、ジャム、前菜など野菜・果物の瓶詰を生産している。地元の農家から野菜や果物を仕入れることにより、リーズナブルな価格と高い競争力を実現している。新鮮なトマト以外一切含まないトマトペーストなど、すべての製品が天然素材で作られており、各種の野菜のマリネ、レチョー、アジカ、ジャムなどの製品を製造している。

工場の主な業務の1つに、マーガリン、チョコレート、マヨネーズの製造の原料として使用する自社用の綿実油の加工がある。綿実油は、精製、脱臭、消毒の全工程を経て無味無臭の液状サラダ油になり、マヨネーズやチョコレートペーストの製造に使用される。また、各工場にはラボ設備を備えている。

当社はトルクメニスタンで初めて綿実油からマヨネーズとマーガリンを製造している。マーガリンの製造ラインには、ドイツ製の近代的な自動化設備を使用している。新規事業として、国産の綿実油をベースに、大豆やその他のほかの食品添加物を含まない美味しい天然チョコレートペーストの製造を開始した。また、従来のヒマワリ油を原料とするマヨネーズに劣らない味の綿実油ベースのマヨネーズも製造している。綿実油の成分はマヨネーズの製造により適していると考えている。

当社には大きな展望がある。一つ一つの製品は多くの専門家の仕事の成果であり、我々は品目、品質、規模をさらに発展させていく意向である。目標は国内市場だけでなく海外市場にも高品質でリーズナブルな製品を提供することである。





- ▶ 現在は、国産原料を使用したマリネ、ジャム、前菜など野菜・果物の瓶詰を生産しています。地元の農家から野菜・果物を仕入れることで、リーズナブルな製品価格と競争力を実現しています。
- ▶ 新鮮なトマト以外の成分を全く含まないトマトペーストなど、すべての製品が天然素材で作られています。
- ▶ 各種の野菜のマリネやレチョー、アジカ、果物のジャムなどの製品を製造しています。



- ▶ その他、従来のヒマワリ油を原料とするマヨネーズに劣らない味の、綿実油ベースのマヨネーズも製造しています。綿実油成分の物理的指標は、マヨネーズ製造により適しています。

(3)メカン・オラゾフ 企業家レジェプムィラト・オラゾフ(商標『Taze Ay』)主任会計士 報告『『Taze Ay』—甘い夢の国』

「Taze Ay」の製菓工場は近代的な設計で建設され、外国製の高性能自動化設備を備えている。1日当たりの生産能力は134 t、主な製品はビスケット、パウンドケーキ、ウエハース、ロールケーキ、サンドビスケットである。

現在、工場は8つの生産ライン（ビスケット、シュガービスケット、パウンドケーキ、ロールケーキ・パウンドケーキは各1ライン、サンドビスケット、ウエハースは各2ライン）があり、様々な種類の菓子を製造している。近代的なハイテク設備、レシピの厳守、高品質な原材料が当社の強みである。メイン工場は高い技術を有しており、ビスケット、パウンドケーキ、ウエハース、ロールケーキの製造ラインは、ほぼ完全自動化されている。

販売市場は主に国内市場で、トルクメニスタン全国で販売している。また、キルギス、タジキスタン、中国、ロシア、アフガニスタンなどの市場を調査しており、将来的にはヨーロッパ、アフリカなどの市場にも進出を計画している。

当社の製品は、安定した関係を構築している代理店および大型小売店を通じて販売している。代理店選びは、以下を考慮して社長が行っている。

- ビジネス上の評判
- 商業活動の経験
- 顧客基盤の有無
- 支払い能力
- 信頼性
- 権威
- その他

当社は創業以来、製品が返品されたことがない。それは消費者のニーズに合致している製品であることの証である。一般消費財のため国内市場での認知度は高く、国内で高い需要はあるが、様々な宣伝を展開している。商品・ブランドのプロモーションを下記の方法で実施している。

- 市街地の屋外広告
- テレビ、ラジオ番組での広告
- トルクメニスタン産業家・企業家同盟が開催する展示会に毎年参加
- ウェブサイト: www.tazeay.com
- YouTubeチャンネル (tazeay)

製菓工場はトルクメニスタンに位置し、国際規格の認証を取得している。工場には近代的なハイテク設備を備えるよう努めている。「Taze Ay」商標の全ての製品は、国際品質規格 ISO 9001: 2008、食品安全管理規格ISO 22000: 2005、IFSの認証およびハラル認証を取得している。これにより、当社の製品は安定した高い品質と、近代的な製造設備の安全な使用が保証されている。

製品の生産は、人・モノ・伝統の3つの要素から成り、これは人が主導する1つの仕組みである。人は伝統を大切に、高品質の製品を生産している。当社には優秀な専門家が働いている。美味しく健康的な菓子を作るため、高品質な原材料を仕入れることに注力している。顧客の希望に耳を傾け、新商品をつくり、デザインを改良している。すでに人気を博している菓子の生産とともに、常に新商品の開発を行っている。

当社の2019～2024年の戦略計画には、生産の拡大、具体的にはチョコレート、ゼリー、キャラメル製品の生産ラインの稼働が掲げられており、2022年第1四半期に生産が開始される。

展示会CAVEX IIへの参加目的は、アジア諸国に販売市場を拡大することである。



製品が大量消費財であることから、地元市場での認知度が高いです。すでに高い需要はありますが、Taze Ay社は常に様々な宣伝キャンペーンを展開しています。商品・ブランドのプロモーションは以下の方法で行っています。

- 市街地の屋外広告
- テレビ、ラジオ番組での広告
- トルクメニスタン産業家・企業家同盟が毎年開催する展示会への参加
- 自社ウェブサイト: www.tazeay.com
- YouTubeチャンネル (tazeay)



(4)アルスラン・アタエフ 個人企業「Mekan」製造部長 報告「『Mekan』のお菓子ーテイストパワー」

個人企業「Mekan」は民間企業の菓子製造会社で、1998年からキャンディ、チョコレート、ウェハース、ビスケットなどを製造しており、30種類以上のラインアップがある。手頃な価格の製品を国内市場に提供している。現在、当社の工場では経験豊富で先進的な菓子職人が働いており、新商品の開発を行っている。

当社は、様々な種類の菓子を製造するためのハイテク設備を備えているほか、高品質な原材料を厳選して使用している。当社の製品は品質が高く、市場のニーズを完全に満たしている。

消費者からの信頼が我々の仕事に対する最高の報酬と言える。子どもの頃から慣れ親しんだ味は、現実の時間よりずっと大切なリラックスした時間に連れて行ってくれる。Mekanの菓子はあなたやあなたの大切な人に喜びをもたらす。

当社は下記の展示会に出展した。

- 2004年10月20～22日：トルクメニスタン独立13周年記念国民経済達成博覧会
- 2010年10月17～19日：トルクメニスタン独立19周年記念国民経済達成博覧会
- 2010年3月18日：トルクメニスタン産業家・企業家同盟3周年記念展示会
- 2011年10月10～12日：トルクメニスタン独立20周年記念国民経済達成博覧会
- 2014年3月17～18日：トルクメニスタン産業家・企業家同盟設立6周年記念展示会
- 2016年3月17～18日：トルクメニスタン産業家・企業家同盟設立8周年記念展示会
- 2020年3月17～18日：トルクメニスタン産業家・企業家同盟設立12周年記念展示会

当社の製品はトルクメニスタン全国で手頃な価格で販売されているほか、イラクやアフガニスタンへの輸出実績もあり、将来的にはその他の国への輸出も計画している。



菓子メーカー「Mekan」

- 当社の主な活動は、キャンディ、チョコレート、ウエハース、ビスケットなどの菓子製造です。1998年からキャンディ、チョコレート、ウエハースを製造しています。品目は30種類以上です。手頃な価格の製品を国内市場に提供しています。現在Mekan社の自社工場では経験豊富で先進的な従業員やパティシエが新たな菓子製品の開発を行っています。



菓子メーカー「Mekan」

当社の製品は、トルクメニスタン全国で手頃な価格で販売されています。
また、イラクやアフガニスタンへの輸出実績もあり、将来的には他の外国への輸出も計画しています。

Mekanのスイーツは満足のパワー！



(5)パイラム・アマノフ 企業家ムハメト・アマノフ(商標『BARS』)製造部長 報告「ブランド『BARS』について」

「BARS」は、2006年設立の民間企業の製菓工場であり、現在、トルクメニスタン最大の製菓メーカーの1つである。

2015年から小麦粉菓子やコーン菓子の生産を拡大した。菓子製造には厳選した天然の材料を使用している。当社の技術者は長年の経験から独自のレシピを開発している。技術者は消費者の嗜好を取り入れているほか、毎年開催される展示会で直接伝えられる代理店からの要望にも耳を傾けている。我々は独自のニッチを占め、顧客を見つけることが出来る製品と一緒に作っている。

当社の製品は、ヨーロッパの大手メーカーの近代的なハイテク技術設備で製造されており、ほとんど全ての製造ラインは自動化されている。

時間とともに当社の製品は人気が高まり、トルクメニスタン国内だけでなく、ジョージアやアフガニスタンなどの外国にも輸出されているほか、ウクライナやトルコへの輸出も予定されている。

国内だけでなく海外にも製品を紹介する素晴らしい機会を与えてくれた、深く尊敬するグルバングリィ・ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領に感謝する。

今後も現状に甘んじることなく、製品の改良に取り組んでいく。毎年、デザインを改良し、ラインアップの拡充を行っている。現在、55種類以上の様々な種類の菓子を製造している。

「BARS」には、常に新鮮で高品質な菓子の豊富な品揃え、リーズナブルな価格、心地よい雰囲気、丁寧で親切なスタッフがそろっている。板チョコ、キャンディ、チョコバー、チョコレートクリーム、パウンドケーキ、コーン菓子などあらゆる味やシーンに合う菓子を見つけることが出来る。

当社は協力のために開かれており、新しい代理店を歓迎する。



《BARS》の品揃え

BARSのラインナップにはあらゆるテイストがあり、あらゆるシーンに応えることができます。たとえば、板チョコ、キャンディ、チョコレートバー、チョコレートクリーム、パウンドケーキ、ポップコーンなど。

- 01 当社は、毎年、製品のデザインを向上させながら品揃えの刷新、拡張を図っています。
BARS全体の品目数は55点以上にのぼります。
- 02 実績に満足して留まることなく、今後も製品の改良と品揃え拡大につとめていきます。



BARSグループは協力のご提案を歓迎します。
新たな販売店との出会いを楽しみにしています！

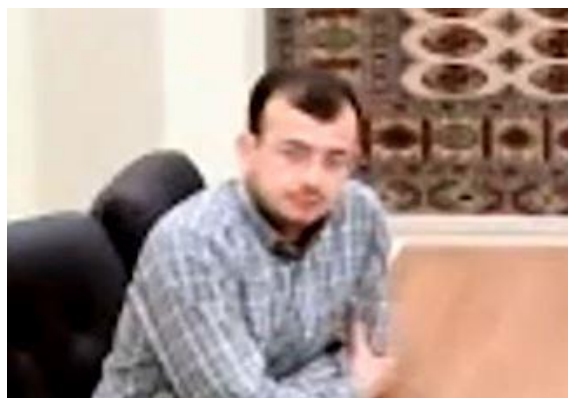
BARSには常に幅広い品揃え、フレッシュで質の高い製品があり、手ごろな価格と気持ちの良い仕事環境、礼儀正しく善意にあふれたスタッフが揃っています。

**(6)パリヴァン・バイラムサヘドフ 企業体「Duygy」技術者
報告「わたしたちはスイートエモーションがどのように作られるか知っている」**

企業体「Duygy」は2001年から菓子を製造している。多種多様な製品が特長で、消費者から好評を博している。当社の製品は天然の原材料からつくられており、遺伝子組み換え作物は使用していない。原材料は信頼できる生産者から仕入れており、あらゆる品質指標において世界標準を満たすことを目指している。全世界に当社の製品をお届けし、すべての人にその忘れがたい味を味わっていただきたい。

当社はウエハース、チョコレート、パウンドケーキ、クッキー、キャラメルなど100種類以上の菓子を製造している。新年には新商品を投入し、既存商品をリニューアルする。

前述したように、当社の製品を全世界にご紹介したい。2021年に初めてウクライナに製品を輸出したところ、当社の製品は高く評価され、今後も継続的に取引を行う予定である。輸出先を全世界に拡大したいと願っている。



企業体「DUYGY」は2001年より菓子類の製造を行っています。多彩な製品により消費者の皆様からご好評をいただいています。



(7)アルチョム・アルギン 「Doganlar Yyldyzy」デザイナー、販売マネージャー 報告「スイーツを手にも、人生をもっと甘く」

「Doganlar Yyldyzy」のショコラティエは、チョコレート一粒一粒に才能と経験を注ぎ込んでいる。当社の製品は、常に市場のニーズを研究し、生産工程の透明性を最大限にし、高い品質を誇っている。我々は消費者の利益を重んじ、消費者は当社の製品を信頼している。これこそが我々にとって最大の報奨である。当社の工場では7ブランド(①Alyber、②Merw、③Altyn Dag、④Janym、⑤Ak yurek、⑥Bal Top、⑦Babella)、55を数える商品名のチョコレートキャンディ、チョコバー、板チョコ、チョコレートペーストを製造している。当社は新たなスイーツの傑作を作るために毎日働いているパティシエの大きなチームである。成功の秘訣はチームワークである。一人一人のプロ意識が共通の目標を成功に導いている。

当社の特徴は、従業員一人一人が自己実現できることである。当社には個人の成長およびチーム全体のプロとしての成長に必要な全ての条件が整っている。どんな重要な戦略にも優秀な人材なしには実現は不可能だと確信している。誠実な名前とブランドは、我々にとって最も価値のある無形資産であり、パッケージのマーク「Doganlar Yyldyzy」が高い品質を保証している。





№	品名	パッケージ重量 (g)	内容量 (g)	1箱の個数	コード
09	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	30 g	24	8	A009
10	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	30 g	24	8	A010
11	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	30 g	24	8	A011
12	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	30 g	24	8	A012
13	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	15 g	48	12	A013
14	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	15 g	48	12	A014
15	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	8 g	60	12	A015
16	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	8 g	60	12	A016
17	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	200 g	—	—	A017
18	Alyber! チョコレートとクッキーの組み合わせ	200 g	—	—	A018



№	品名	パッケージ重量 (g)	内容量 (g)	1箱の個数	コード
42	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	200 g	—	12	A042
43	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	200 g	—	12	A043
44	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	400 g	—	12	A044
45	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	400 g	—	12	A045
46	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	400 g	—	12	A046
47	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	400 g	—	12	A047
48	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	600 g	—	8	A048
49	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	600 g	—	8	A049
50	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	900 g	—	8	A050
51	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	900 g	—	8	A051
52	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	300 g	—	12	A052
53	Babella チョコレートとクッキーの組み合わせ	300 g	—	12	A053

(8)メルゲン・ムハメトグリエフ
個人企業「Rowshen」輸出マネージャー
報告「一步一步の快適さ」

個人企業「Rowshen」およびトルクメニスタン産業・企業家同盟会会員の公開株式会社「Maksat Deri」は、高い目標を掲げ、イノベーションに積極的に取り組み、創造性を発揮している。現在、当社は冬用の数十種類の新しい男性用、女性用、学童用、子供用の靴を生産している。

尊敬する大統領の中小企業育成政策に基いた長期優遇融資により、世界最先端技術のマシンなどを備えた2階建ての新しい生産棟が建設された。設置されている機器は全て先進国イタリアやドイツ製の最新のハイテク機器であり、これらの新しい設備によって生産している靴のサイズおよび種類が増加し、品質は大幅に向上した。

特に注目すべきは、200人以上の若者の雇用が創出されたことである。当社の専門家や従業員が新しい設備を迅速かつ徹底的に使いこなしたことにより、生産体制の再編成を促進した。その結果、靴の生産量は3倍に増加した。現在、毎月1万5,000足の様々なシーズンの紳士靴、婦人靴、学童靴、子供靴、スポーツ用シューズを生産している。当社は我が国の軍や治安機関、医療システムなど様々な産業分野から注文を受け、靴を大量生産している。

3倍に増加した靴の生産に材料を安定的に供給するため、公開株式会社「Maksat Deri」の皮革製造工場にレザー・ドライヤーやそのほかの強力な設備が備えられている。この設備のハイテク技術により大量の革を短時間で乾燥させることが可能である。環境に配慮し、靴の生産に必要な自然の特性を備えた材料から国産の革を生産することにより、高品質な革靴を輸入品よりも安い価格で提供することができている。

当社の革靴は、首都アシガバードやそのほかの都市に所在する当社の専門店を通じて人々に届けられている。公開株式会社「Maksat Deri」が革を製造し、個人企業「Rowshen」が縫製したエレガントで、履き心地がよく、競争力のある高品質の革靴は、現在、国内市場で需要が高い。

我が国の中小企業発展のために国が提供しているあらゆる支援に対し、尊敬する大統領に心から感謝の意を表明する。



(9)高橋 渉 (株)Deloitte & Touch CIS ジャパンサービスグループ パートナー コメント

トルクメニスタンは日本人の皆さんにとりましては、あまり馴染みのない国かもしれない。中央アジア五カ国の中でもっとも南西部に位置し、カスピ海に面している。人口は約600万人、面積は488,000 km²（スペインとほぼ同じ・日本の約1.3倍）、GDPは456億ドル（2020年・世界85位）、1人当たりGDPは7,674ドル（2020年）でカザフスタンについて2番目の水準である。

トルクメニスタンは、皆さまご存知の通り、豊富な天然資源を有しており、特に天然ガスは世界4位の資源量を誇っている。主な産業は天然ガス・石油・綿花・繊維工業となっている。現在トルクメニスタンは天然ガス依存の経済から脱却・転換を目指している。一方、私達日本人にとりましては、他の産業への情報があまりなく、今回初めてトルクメニスタンの企業の皆様より特に食品分野を中心に具体的なお話を聞いたことは極めて有益だったように思う。

日本とトルクメニスタンの貿易について2020年度貿易統計では、日本からトルクメニスタンへの輸出は123.5億円なのに対して、トルクメニスタンから日本への輸入はわずか0.8億円であり、衣類や計測器類などに限られ、極めて少ない輸入量となっている。輸入量が少ないのは、私達がトルクメニスタンの製品について情報が少ない、トルクメニスタンの企業とのコンタクトが少ない、という点も大きいと思っている。

トルクメニスタンの企業の皆様に日本市場・日系企業とのビジネスについてお話したいと思う。日本の市場は競争の厳しい市場であり、製品が日本市場にマッチするか（日本人の味覚にあうか）、日本市場への理解が極めて重要と思う。加えて、市場に受け入れられる価格・納期（物流）・賞味期限・製品の安定供給・高く安定した品質・洗練されたデザイン・パッケージングなどが重要な要素であると思う。食品衛生法など食品に関する規制を理解することも重要だ。日本でもFOODEXなどの食品展示会があるので展示会に参加することも重要、興味をもった日系企業にはサンプル供給が必要と思う。個人的にはトルクメニスタンから日本への納期・物流のコストも大変気になる点である。

展示各社についてであるが、「Deryaplastic」社はプラスチック・陶磁器衛生設備の製造会社である。水道の排水管・コルゲート管は日本市場での需要はあるかもしれない。

「Owadan Ukle」社は、綿実油を中心とした企業である。綿実油は日本人にとって馴染みはないが、サラダ油の原料やマーガリン・ツナ缶の油漬け用の原料となっており、まろやかな風味が特徴であり、日本でも需要が拡大する可能性がある。「Rowshen」社は天然皮革製の靴の製造会社であり、トルクメニスタンのナショナルブランドである。高品質・イタリアの優れた技術・トルコ人デザイナーのデザインを売りとしている。

お菓子関係（チョコレート、ゼリー、クッキー、キャンディ、キャラメル、ウエハースなど）は日本では大変競合の激しい参入の難しい市場と思う。近年では、ロシア産のお菓子も、少しずつではあるが、日本での販売が増加している。展示会に参加する、サンプルを提供する、日本でのパートナーとの関係を構築する、日本市場向けに品質・デザインを改善する、など地道な活動をしていくことで日本市場参入の糸口が見えるかもしれないと考える。

トルクメニスタンの企業の皆様には日本市場参入のためには、1回のみの展示会参加ではなく、ぜひ継続的な日本市場へのアプローチをお願いしたい。今回参加頂いた日系企業の皆様には、ぜひ積極的に今回の展示に参加されたトルクメニスタンの企業にコンタクトしてほしい。この展示会をきっかけに、トルクメニスタンと日本間のビジネスが少しでも始まり、今後活性化していくことを心より願っている。



「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第1部」 質疑応答

企業体「Deryaplastik」への質問：

プラスチック製品の原料は100%国産だという理解でよいのか。輸出先として、タジキスタン、ウズベキスタン、カザフスタンなど旧ソ連諸国を挙げておられるが、工業規格はGOSTを使っているのか。旧ソ連外への輸出実績はあるのか。

ムハメトスロフ・企業体「Deryaplastik」社長回答：

プラスチックの排水管の原料については国産を使用しているが、外国の原料も使用している。GOST 工業規格を使用している。輸出実績は、タジキスタン・アフガニスタン・アゼルバイジャン・ジョージア・ベラルーシなどである。

企業家「レジェプムィラト・オラゾフ(商標『Taze Ay』)」への質問：

CAVEX II の展示コンテンツを拝見したところ、すでに中国への輸出実績があるようだが、中国市場ではどのくらいの量、どのような種類のお菓子の輸出をしているのか。また、味の好みなど、アジア圏での特徴など違いはあるのか。もう1つは、ハラル認証を取得しているとのことだが、それは輸出を視野に入れてという理解でよいのか？それともトルクメン市場でも、ハラル認証は必要になる見通しなのか。

オラゾフ・企業家「レジェプムィラト・オラゾフ(商標『Taze Ay』)」主任会計士回答：

中国への輸出量は約100 t で、主にシュガークッキーを輸出している。中国ではより甘味の強いものが好まれている。ハラル認証は輸出の際や国内で必ず必要なものではないが、当社は今後の輸出を視野に入れて認証を取得した。

製菓メーカー全般への質問①：

商品は空港などでも購入できるのか。スーパーやバザールでしか購入できないのか。ネット通販などでの取り扱いは検討しているのか。

オラゾフ・企業家レジェプムィラト・オラゾフ(商標『Taze Ay』) 主任会計士回答：

トルクメニスタン全国の代理店を通じて販売している。空港でも当社の製品を購入できる。イン

ターネット通販は積極的に開発中である。

企業家ムハメト・アマノフ(商標『BARS』)への質問:

御社の製品は空港などでお土産ものとして購入はできるのか。ネット通販する計画はあるのか。
バルスというのはユキヒョウという意味だが、トルクメニスタンにユキヒョウはいるのか。

アマノフ・企業家ムハメト・アマノフ(商標『BARS』)製造部長回答:

弊社の製品は空港で購入することができる。現時点ではネット通販はしていないが、将来的にはネット販売を計画している。ユキヒョウについては、トルクメニスタンの山に生息している。

「Doganlar Yyldyzy」への質問:

調達先についての質問であるが、チョコレートは主にどこから輸入しているのか。

アルギン・「Doganlar Yyldyzy」デザイナー、販売マネージャー回答:

原料はトルコからのみ仕入れている。トルコとは非常に長い間、取引関係が続いている。



製菓メーカー全般への質問②:

チョコレート以外の砂糖、小麦粉、ナッツなどお菓子の材料の中で、主に国産のもの、主に輸入されているものについて教えて欲しい。

アタエフ・個人企業「Mekan」製造部長回答:

80%は国産の材料を使っている。小麦粉や砂糖は国産だが、乳製品については輸入に頼らなければいけないものもある。国産の材料は品質が高く、その上、コストが低いので、国産の材料を優先して使っている。

企業体「Owadan Ulke」への質問:

ヒマワリ油などではなく、綿実油に特化しようとしているのは、国産原料へのこだわりからと理解した。しかし、純粋にマヨネーズやマーガリンの原料として評価した場合、綿実油が他の原料より採れる油より優れている点はなにか。

ガディミ・企業体「Owadan Ulke」貿易部長回答:

綿実油はヒマワリ油より粘度が高いため、マヨネーズの原料としてより適していると考えている。当社ではヒマワリ油のマヨネーズも生産している。原料はロシアのタタルスタン共和国の非常に品質の良いヒマワリ油を使用している。マヨネーズは複数の種類を作っており、その中の1つが綿実油のみを使用している。なお、新商品として国産の菜種油ベースの製品を現在開発中である。

個人企業「Rowshen」への質問:

革靴以外の革製品、財布やベルトなども生産しているのか。御社の CAVEX II の展示に、日本と共同実施したいプロジェクトとして、「日本への靴の輸出」と「工場に必要なハイテク設備の購入」が挙げられていたが、具体的にどのような機械・設備の購入を検討しているのか。

ムハメトグリエフ・個人企業「Rowshen」販売マネージャー回答:

ベルト、バッグ、財布など一般的な革製品も生産している。機械・設備の購入については、製品の製造量を増加するため、良い設備の購入は弊社の基本方針となっている。

製菓メーカー全般への質問③:

CIS以外の輸出先としてアフガニスタンをよく挙げられているが、トルクメニスタンはイランとも接している。イランの方が市場として大きいはずだが、あまり輸出していないのはなぜか。イランのお菓子市場は競争が激しいということか。

オラゾフ・企業家「レジェプムイラト・オラゾフ(商標『Taze Ay』)」主任会計士回答:

弊社はイランに輸出していない。特に需要がないということである。イランは製菓業界が非常に発展しているため、需要がないのかもしれない。今後、調査してみたいと思う。

アルギン・「Doganlar Yyldyzy」デザイナー、販売マネージャー回答:

我々も同じ意見で、イランでは熾烈な競争がある。今後、交渉を行い、市場として視野に入れることが考えられる。

製菓メーカー全般への質問④:

チョコレート製品を輸出する際の国際貨物の品質保証のため利用している国際的な第三者検査機関あるいは認証機関はどこか。輸出する際、このような認証会社を使っているのか。

アルギン・「Doganlar Yyldyzy」デザイナー、販売マネージャー回答:

国内認証で輸出可能な範囲で輸出を行っており、国際的な認証は取得していない。

◆ウェビナー「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション: 第2部」

(1)メルダン・メレドフ 個人企業「Berk Gerden」チーフマネージャー 報告「改質ビチューメンからの防水材の製造」

弊社は2010年の設立で、専門として防水建材の製造を行っている。屋根用の防水ロールやビチューメンマスチックと言われるような改質ビチューメン、ポリマーサンドタイルを製造している。防水材は現在、屋根をはじめとして非常に幅広く使われている。弊社の防水材の生産能力は1日当たり1万㎡である。改質ビチューメンについては、生産能力が1日当たり100tとなっている。改質アスファルトは道路の路面や建造物の基礎の建設にも使用されている。そのほか、ポリマーサンドの屋根瓦の生産能力は1日当たり100㎡である。

また、これらすべての製品の製造には廃プラスチックが使用されており、それによって手頃な価格を実現している。さらに屋外環境へのダメージがないという点も申し上げたい。

現在は国内市場での販売のほか、ウズベキスタンとアフガニスタンに輸出を行っている。また、他の近隣諸国とも輸出を拡大すべく交渉を行っている。



当社の創業は2010年。会社設立当時の目標は国産屋根材製造業を立ち上げることでした。

年月を経た今、自信を持って言うことができます。当社はこの目標を達成したのみならず、製造品目の拡大にも成功しました。

会社の設立以来、当社は建材製造業の分野で活発に事業展開をはかっています。原料として使用しているのは生活ごみとして出された廃プラスチックです。このため製品の品質を維持しつつ低コストを実現しているほか、廃プラスチックの有効利用を推進して我が国の自然環境保全に貢献しています。



個人企業「Berk Gerden」は防水材料、改質アスファルト、
ポリマーサンド屋根瓦などの建材・屋根材料を製造しています。

ポリマー改質アスファルト

ポリマー改質アスファルトまたはポリマーアスファルト結合剤の利用は世界中で広がっています。

ポリマー改質アスファルトは、気温変動幅の大きさにより道路に対する負荷が高くなる地域において、道路の耐用年数を大幅に向上させることができます。

ポリマー改質アスファルトの調製にはアスファルト改質装置を使用します。

耐熱性、耐寒性などの高度な工学的特性を持つ改質アスファルトの製造は、土木用・建築用およびその他のアスファルトにポリマーを添加することによって行います。



ポリマーサンド瓦

ポリマーはかけがえのない素材として、建設業を含む様々な生活分野において幅広く使われています。

スレート瓦に替わって使われているのがポリマーサンド瓦ですが、色鮮やかで実用的かつ安価なこの素材を、Berk Gerdenではポリマー廃材を主たる原料として製造しています。

ポリマーと砂の混合物からつくるこの瓦には実用上の利点が数多くあります。

施工が容易で色彩範囲が広いことから、個性豊かな色合いを選択することができるほか、断熱性、防水性、柔軟性、軽量性、堅牢性（施工時、破損の心配なしに瓦の上を歩くことができる）、無毒性（有害化学物質の揮発または浸出がない）、輸送の利便性に優れています。



(2)セルダル・アシロフ 運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」副社長 報告「『Hazar-Tolkuny』—トルクメニスタンにおけるあなたのフォワード—」

弊社は2009年9月に設立された。高水準の通関、倉庫保管、輸送サービスを提供しており、物流コストを最小限に抑え、パートナーを獲得している。

高度なスキルをもつマネージャーや物流担当者が顧客に対して個別のアプローチを行い、適切な物流、そしてベストなソリューションを提案している。また倉庫内商品の集中管理により、セキュリティに貢献している。さらに、迅速かつ高品質な書類作成によって、トルクメニスタンの法律に準拠した商品輸送を提供している。欧州およびCIS地域における豊富な経験があり、高度なスキルを有するプロフェッショナルチームをもつ。加えて、鉄道事業者、海運会社、トラック輸送業者、空港ターミナル、コンテナ・機器などの重要なサービスプロバイダとの長年の協力関係がある。

弊社の企業使命は、トルクメニスタン国家経済の強化に貢献すべく、貨物の輸出入輸送からのマネーフローを確保することである。環境マネジメントにかかる効果的なソリューションを導入しており、労働安全や環境バランス維持の文化を成長させている。

未来へのビジョンとしては、「成功している輸送会社の世界ランキングで上位のポジションを得ること」、「ソリューション実現のエキスパートとなること」、「世界標準の要求事項に則ったビジネスプロセスを構築すること」などがある。品質、環境、健康、労働安全に関する優れたマネジメントシステムを備えた企業として、輸送ロジスティクスサービス分野での発展を続けていく。

我々の顧客には、「Schlumberger」や「Weargford」、「Petrofac」、「Nordic Energy」、「BURIED HILL」、「HALLIBURTON」、「BAKER HUGHES」、「ALMANSOORI」などのエネルギー関係の企業が多くいる。

様々な分野で弊社はその役割を果たしており、トラック輸送については、中央アジアとCIS諸国との間の輸送を行っている。FTL、LTLあるいは特殊車両によって競争優位性のある価格を提供している。サービス内容は次のとおり。

- ・ 中央アジアとCIS諸国との間の一般貨物、危険貨物、大型貨物の輸送
- ・ 中央アジアおよびCIS諸国における貨物追跡サービス
- ・ 中央アジアおよびCIS諸国における輸出入・通関業務
- ・ ジャストインタイム・サービス
- ・ 重量貨物、規格外寸法貨物、センシティブ貨物の専門的輸送
- ・ トルクメニスタンにおける倉庫保管業務および国内配送サービス

航空貨物輸送については、顧客志向で個別の航空輸送サービスを、世界各国からあらゆる仕向け先に提供している。サービス内容は次のとおり。

- ・ 欧州～北米間、アジア～アフリカ間およびCIS諸国間の空港間輸送およびドアツードア輸送
- ・ 随時の輸送状況報告サービス
- ・ 欧州およびCIS諸国における集荷および配送サービス
- ・ CIS諸国における輸出入・通関業務
- ・ 倉庫保管・書類作成・荷役業務
- ・ 梱包・包装業務

海上貨物輸送については、トルクメンバシ港～アゼルバイジャン間のコンテナ貨物およびバラ積み貨物の海上輸送サービスを提供している。サービス内容は次のとおり。

- ・ 通常輸送（バラ積み貨物、乾貨物、液体・液化貨物）
- ・ トルクメニスタンにおける輸出入・通関業務
- ・ CIS諸国におけるインターモーダル／マルチモーダル輸送（海上／鉄道～海上／鉄道）サービス
- ・ CIS通関規則に則った輸出入書類の発行および点検
- ・ 工業製品の梱包
- ・ 輸送保険
- ・ トルクメニスタン国内における倉庫保管・組立・配送サービス
- ・ 特殊貨物の専門的輸送

ご関心があれば、ぜひ我々にご連絡をいただければと思う。



OUR CLIENTS:

Schlumberger

Weatherford

Petrofac

Nordic Energy

BURIED HILL

HALLIBURTON

BAKER
HUGHES

المنصورى
ALMANSOORI

4



トラック貨物輸送

Hazar Tolkunyは、中央アジアとCIS諸国との間のトラック輸送をFTL (Full Truck Load=チャーター便)、LTL (Less Than Full Truck Load=混載便) および特殊車両によって競争優位性ある価格で行います。

当社のサービスには次のものが含まれます。

- 中央アジアとCIS諸国との間の一般貨物、危険貨物、大型貨物の輸送
- 中央アジアおよびCIS諸国における貨物追跡サービス
- 中央アジアおよびCIS諸国における輸出入・通関業務
- ジャストインタイム (JIT) サービス
- 重量貨物、規格外寸法貨物、センシティブ貨物の専門的輸送
- トルクメニスタンにおける倉庫保管業務および国内配送サービス



航空貨物輸送

Hazar Tolkunyは、顧客志向で個別の航空輸送サービスを世界各国からあらゆる仕向け先に提供します。

当社のサービスには次のものが含まれます。

- 欧州～北米間、アジア～アフリカ間およびCIS諸国間の空港間輸送およびドアツードア輸送
- 随時の輸送状況報告サービス
- 欧州およびCIS諸国における集荷および配送サービス
- CIS諸国における輸出入・通関業務
- 倉庫保管・書類作成・荷役業務
- 梱包・包装業務
- 輸入・輸出貨物混載
- 集荷・梱包・組立・物流



海上貨物輸送

Hazar Tolkunyは、トルクメンバシ港～アゼルバイジャン間のコンテナ貨物およびバラ積み貨物の海上輸送サービスを提供します。

当社のサービスには次のものが含まれます。

- 通常輸送 (バラ積み貨物、乾性貨物、液体・液化貨物)
- トルクメニスタンにおける輸出入・通関業務
- CIS諸国におけるインターモーダル/マルチモーダル輸送 (海上/鉄道～海上/鉄道) サービス
- CIS通関規則に則った輸出入書類の発行および点検
- 工業製品の梱包
- 輸送保険
- トルクメニスタンにおける倉庫保管・組立・配送サービス
- 特殊貨物の専門的輸送

(3)ゲルディムイラト・フダイベレノフ 個人企業「Yyndam yollar」輸送部長 報告「『Yyndam yollar』—あなたの信頼できるパートナー」

弊社は若い貨物輸送企業である。設立は2019年で、まだ創業から日が浅い企業ではあるが、すでにロジスティクス分野での実績を順調に積み重ねている。現在トルクメニスタンで積極的な建設が行われている自動車道路整備の「アフトバン」プロジェクトを含む大きなプロジェクトにも関与してきた。我々は、特殊貨物やプロジェクト関係貨物の輸送経験や、ニーズの把握、提供する品質、組織力、サービスによる信頼に基づいて、顧客にサービスを提供している。そしてこれまでの仕事を通じて、我々は信頼できる良きパートナーとしての地位を確立してきた。

現在、弊社は貨物輸送サービスを拡大するため、各国で最も手頃である鉄道輸送に注力している。車輛を企業が所有することで輸送価格を大幅に下げることができるため、この点が非常に重要になる。鉄道輸送は最も確実かつ経済的な貨物輸送手段である。自動車輸送には多くの制限があり、価格の面でも多くの状況下において鉄道輸送より割高である。また鉄道輸送では、コンテナや、有蓋貨車、無蓋貨車、トレーラー、タンク車など様々な種類の車両で貨物を輸送することが可能である。また鉄道輸送であれば気象や天候条件に左右されないため、納期の遵守が保証できる。何より、柔軟な価格設定を行うことができるため、コンテナ等による鉄道輸送の価格は他の輸送手段よりもはるかに安価である。

弊社は、鉄道輸送用車輛の買付けについて投資を誘致するべく、パートナーの皆様ビジネスプロジェクトを提示する用意がある。長く誠実なパートナーシップを楽しみにしている。



運送会社「Yyndam Yollar」の 鉄道車両購入プロジェクトの紹介

鉄道貨物輸送サービス拡大のため、競争力を強化する有蓋貨車および無蓋貨車の購入が必要。
鉄道貨物輸送サービスの提供には列車の所有が特に重要。

- 鉄道輸送は最も確実かつ経済的な貨物輸送手段
- 自動車輸送には多くの制限がある
- 鉄道輸送では、鉄道が唯一の交通手段である僻地や到達困難な地域に貨物を輸送できる
- コンテナや、有蓋貨車、無蓋貨車、トレーラー、タンク車など様々な車両で貨物を輸送できる
- 鉄道輸送は気象や天候条件に左右されず、納期を守ることができる
- 柔軟な価格政策により、コンテナ等による鉄道輸送の価格は、他の輸送手段よりも安価



(4)アイグリ・アクマメドヴァ 企業体「Terne Logistics」物流担当部長 報告「最高の物流パートナー」

弊社は、貨物の配送・保管のフルサービスを提供する輸送・物流企業である。航空輸送、鉄道輸送、海上輸送、自動車輸送により顧客の貨物をお届けしている。UAEや中国、欧州、ロシア、トルコ、CIS諸国からのマルチモーダル輸送や混載貨物輸送における実績がある。

我々のチームは、顧客のビジネスにおける主なニーズに基づき、競争力のある価格、そして商品配送のための個別のスキームを提供している。また弊社では、通関や貨物保険のサービスも提供している。その他のより詳細な情報については、弊社ウェブサイト（ <https://terne-logistics.com/en> ）をご確認いただきたい。



提供するサービス



- コンサルティング
- マルチモーダル輸送
- 自動車輸送
- 鉄道輸送
- 航空輸送
- 海上輸送
- 混載貨物輸送
- 貨物保険
- ドアツードアの配達
- 輸出入通関



当社が選ばれる理由:

**TERNE
LOGISTICS**
Your best logistics partner



- ✓ 高度なスキルを持つスペシャリストから成るチーム
- ✓ 質の高いサービスを保証
- ✓ 「ドアツードア」のサービスを提供
- ✓ 外国企業およびトルクメニスタン大手企業が取引先
- ✓ 市場におけるベストプライスのひとつ
- ✓ 確実に所定の期日に貨物を配送
- ✓ 貨物の保全を保証
- ✓ あらゆる輸送段階における貨物追跡サービスの提供
- ✓ 当社スペシャリストには毎日24時間アクセスが可能
- ✓ 顧客ロイヤルティ向上プログラム
- ✓ 忍耐強く礼儀正しいスタッフ
- ✓ 迅速な問合せ対応
- ✓ 文書の保全を保証
- ✓ 世界のあらゆる国からあらゆる輸送手段によって貨物を配送
- ✓ どのような難しいオーダーでも引き受け可能

当社は輸送会社を超えた、
お客様の最良のロジスティクスパートナーです！

Terne Logistics



トラック貨物輸送

トラック輸送は依然として輸送の主流です。
当社は貨物ごとの特徴を考慮した安全かつ迅速なトラック輸送を手配します。
当社のスペシャリストたちが輸送ルートを選定、付随する書類の作成を行い、所定の期日・所定の場所に貨物を配送します。



混載貨物、規格外寸法貨物を含む
あらゆる貨物の輸送サービスを提供



アクセス困難な地域でも事業を展開

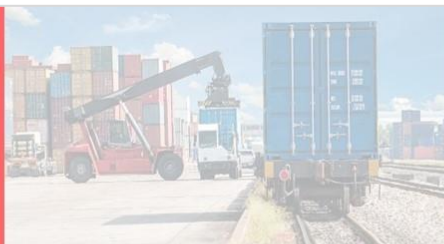


ドアツードア配送

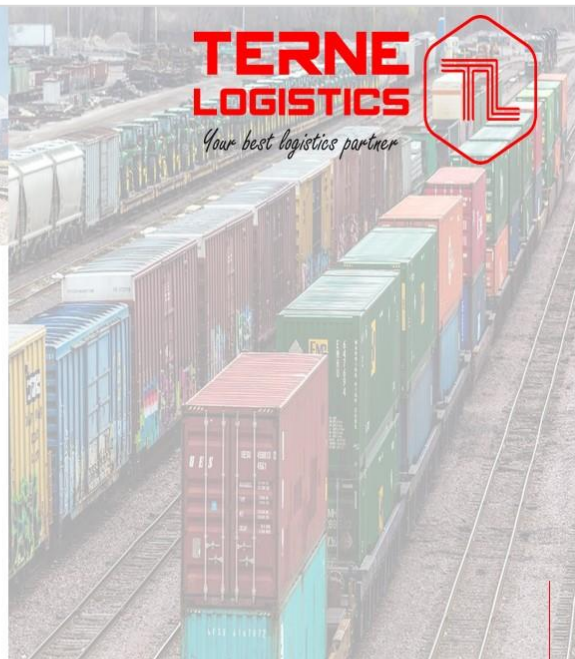
**TERNE
LOGISTICS**
Your best logistics partner



Terne Logistics



**TERNE
LOGISTICS**
Your best logistics partner



鉄道貨物輸送

鉄道貨物輸送の利点は、移動が高速であること、大量の貨物を最大限安全に輸送できることです。

鉄道輸送は貨物一単位当たりの輸送価格が低いため、大量に遠距離まで輸送する場合には常に有利となります。

鉄道輸送はほぼすべての種類の貨物に対して可能です。

危険貨物の鉄道輸送は荷印、梱包、安全標識などに関する特別規則にしたがい、貨物危険等級に応じた専用コンテナを使用して行われます。

 鉄道輸送における豊富な経験

 広い範囲のロジスティクスサービス

 複合スキーム輸送の経験

 車両リース



Logistics



貨物航空輸送

もっとも需要の高い輸送形態のひとつが航空輸送です。現代の航空機はあらゆる重量と寸法の貨物を輸送することができます。

貨物航空輸送の主な利点は、最も高速な輸送であること、広い地域(全世界)をカバーしていること、リスクが最小限であることです。

当社は「ターンキー方式」で正確に期日通りにあらゆる仕向け地への貨物輸送を手配します。

当社は生鮮品、特定の化学品、規格外寸法貨物、危険貨物を含むあらゆる種類の貨物を輸送します。



全世界にあらゆる貨物を配送



ドアツードア配送



チャーター便の手配

**TERNE
LOGISTICS**
Your best logistics partner



Logistics



海上貨物輸送

海上輸送は貨物の遠距離輸送を最も安価に行うことのできる手段であるため、国際交易における貨物海上輸送への関心はとりわけ高いものがあります。海上輸送では、大型貨物、ばら積み貨物を含むあらゆる種類の貨物を輸送することができます。

当社は輸送地域に関わらずあらゆる貨物の輸送手配を行います。各国の海運ルートおよび港湾とのやりとりにおける豊富な経験を持っているため、フレキシブルなプライシングポリシーを自信を持って提示することができ、高度なサービス水準を維持しています。当社のスペシャリストは貨物の特性と顧客のニーズに合った最適な船船を選定します。



低コスト



船舶の貨物積載量の大きさ



コンテナ輸送

TERNE LOGISTICS
Your best logistics partner

TerneLogistics



中国における商品買付け

商品の買付けは対中国ビジネス立ち上げの初期に起業家を悩ますことの多い問題です。当社のスペシャリストは中国における商品買付けのお手伝いをし、買付けにかかわる選択肢で最適な提案をいたします。

当社は最も有利で簡便な協力案をご提供し、トルクメニスタンまでのスムーズな貨物配送を手配します。

中国からの商品買付け・配送サービスの提案は、生産者からの直接購入、Taobao.comなどのネットショップ、AliExpress.comその他のECサイト経由のどちらの形もありえます。



有利な取引



ドアまでの配送



有利な買付け

TERNE LOGISTICS
Your best logistics partner

AliExpress E2 淘宝网 Taobao.com

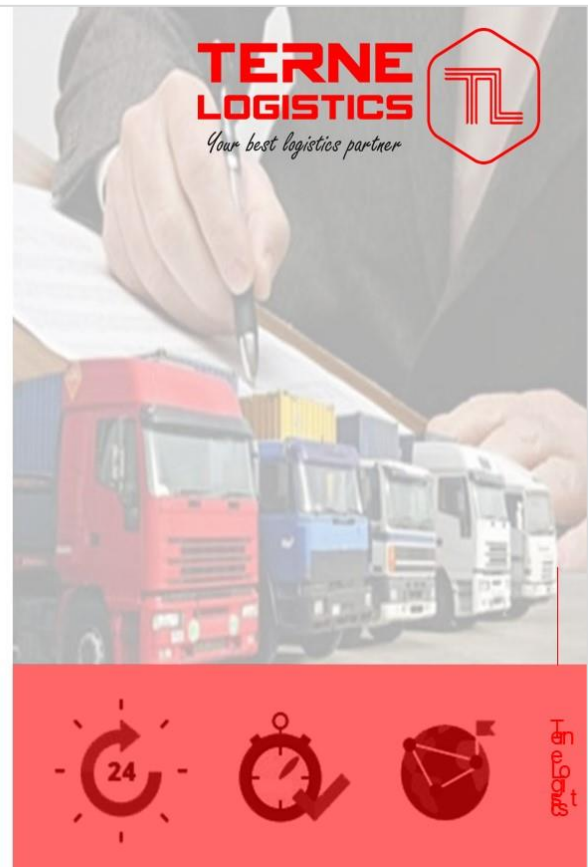
TerneLogistics



通関手続き

私たちは通関士登録証明書にもとづき、トルクメニスタン全土において商品・貨物の輸出入通関手続きを行っています。当社スタッフが持つ豊富な経験と税関との間に築かれた良好な関係により、広い範囲のサービスを迅速に提供することができます。

-  責任感が強く経験豊富なスタッフ
-  取引所契約の登録
-  最短期間での手続き



顧客リストから:



SHANGHAI
MITSUBISHI
ELEVATOR



TERNE
LOGISTICS
Your best logistics partner



TEHNİKA DUNYASI



HALDOR TOPSØE
CATALYSING YOUR BUSINESS

KERRY
PROJECT
LOGISTICS



Terne
Logistics

(5)西澤善弘 伊藤忠商事㈱アシガバッド事務所長 コメント

各社のプレゼンを大変興味深くお聞きした。プレゼンターの皆様に感謝申し上げます。私の感想を含めたコメントを申し上げたい。分野が異なるため、全社に共通して言える事は限られるが、簡単に共通する点を申し上げ、続いて分野ごとにコメントさせていただきたい。

現在のパンデミックの状況下では、経済状況は必ずしも良いとは言えない。しかし、パンデミック以前のレベルまで業績が回復してきている企業も一部ある。一方、残念ながら耐え切れずに倒産、廃業に追い込まれた企業もある。

パンデミックの状況については専門家の意見を聞かなければならないが、この冬を超えれば、感染者数は下降線に向かうだろうとの見方をされている方が多いように思う。トルクメニスタンはかなり厳しい感染対策をされており、だからこそ最低限の感染者で済んでいるのではないかと思われる。

さて、まずは全社に共通して考えなければならない点について申し上げたい。それは、SDGs、つまり環境配慮の視点である。最近、欧米各国はもちろん、日本でもSDGsに配慮した取り組みが重視されている。弊社でも様々なビジネスモデルがSDGsの視点に照らして合致しているか否かが、ビジネスを進める上で大きなポイントになっている。

Berk Gerden社については、廃プラスチックを原料とした製品を作っておられ、しっかりとSDGsの視点を踏まえた取り組みであり素晴らしいと思う。おそらく、様々な環境への影響を考慮し製品を作られていると思うが、できれば第三者機関による、環境に配慮している事を示す証明書のようなものがあると購入者は安心すると思う。特に、欧州の検査機関が発効する証明書は有効であると思う。今後、パンデミックが解消され経済が回復しても、SDGsの視点は絶対に外せないものであり、またSDGsに配慮している企業のみ生き残ることができると思う。

物流活動の中でも、SDGsの視点に配慮しているかどうかは重要であろう。物流活動でも様々な廃棄物が出るが、適正な廃棄がされているかどうかという点も重要であろう。また、労働環境への配慮も必要だと思う。物流業者がどのようなSDGsの証明書を入手できるのか分からないが、もし第三者検査機関の証明書があれば、輸出者としては大きな安心材料になる。

次に、本日は物流業者の方からのプレゼンテーションが多かったので、トルクメニスタン向けの物流に関して少しコメントさせていただく。これから経済が回復してくれば、特にトルクメニスタンのような内陸部の国の場合、経済活動の最重要事項の1つが物流の安定化になる。物流を担う皆さんの役割は今後ますます重要になってくると言える。

例えば日本からトルクメニスタンにモノを運ぶ場合、考えられる輸送ルートとしては、大型

の機器の場合、船でトルコのデリンスまで運び、荷揚げしてトラックでジョージア、アゼルバイジャンを経由して、アゼルバイジャンからフェリーでトルクメンバシに運び、後は国内を再度トラックで輸送するという事になるかと思う。あるいは、夏の間は水路でボルガドン運河を経由してアストラハンまで運び、そこからカスピ海経由でトルクメンバシに運ぶというルートも考えられる。コンテナ輸送の場合（部品のような小物の輸送の場合）は、鉄道輸送を使う可能性がある。その場合、ロシアあるいは中国経由で同じく複数の国を経由してトルクメニスタンに到着する事になる。

日本からモノをトルクメニスタンに運ぶ場合、このように複数の国を経由し、船とトラック輸送を併用する事になるため、通常の直行の大型船が入っている国向けの輸送に比べ事故のリスクも高く、かなり組織的かつ迅速、そして安全に輸送を行っていただかなければならない。

我々から見れば、事故や盗難がなく安全・確実に運んでくれて、間違いなくトルクメニスタンにモノが届くという事が最も重要である。最近では、日本でも欧米でも、貨物がどこにあるのか状況が逐一わかるサービスを提供してくれる輸送業者も多くなってきた。トルクメニスタン向けのような貨物の場合、今どこにモノがあって、あと何日で港に着いてトルクメニスタン側の通関作業に入れそうだとか、あと何日で最終仕向地である客先の倉庫に到着する見込みだ、といったようなきめ細かな情報がタイムリーに得られるかどうかが重要だと思う。

厳しい納期で何とか早く出荷し顧客の要望に応えようと、日本企業側はせっかく日本から早く出荷をすることができて、輸送に予定よりも何日も多くかかってしまえば、その努力が無駄になってしまう。

ぜひ、皆さんのお力で安心、安全、確実な物流網を構築していただき、トルクメニスタンの経済活動がより活発になるように祈っている。



「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション: 第2部」 トルクメニスタン側コメント・質疑応答

アクマドヴァ・企業体「Terne Logistics」物流担当部長コメント:

いただいたコメントに感謝する。我々としても、様々な段階のトラッキングサービスについてなるべく情報としてお客様に提供するシステムを開発している。トラッキング情報は電話などでお伝えするようにしている。また保険についても、我々は非常に責任感をもって対応している。そのため、今いただいたコメントのような方向に動くよう努力しているところである。

アシロフ・運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」副社長コメント(※ウェビナー後に提供された追加情報):

持続可能な開発目標(SDGs)に関連して、弊社はISO9001(品質マネジメント)、ISO14001(環境マネジメント)、ISO45001(労働安全衛生マネジメント)の認証を取得しており、これらの証明書に準拠したサービスを提供している。最近、FCL/FTL輸送よりもLCL/LTL輸送でより多くの商品を輸送することを心がけている(フルコンテナの混載貨物輸送により、半分空のコンテナを減らす)。こうした取り組みにより、地球への二酸化炭素排出による地球への影響低減を目指している。

輸送会社全体への質問:

日本あるいは東南アジアに荷物を送る場合、どのような国際輸送会社をパートナーにしているか。

フダイベレノフ・個人企業「Yyndam yollar」輸送部長回答:

韓国のCJロジスティクス(サムスングループ)と協力をしている。同社は大手の輸送会社で、日本でも有名な企業だと思う。ドバイ、トルコ、イランなどで活動しており、2016年にはトルクメニスタンを訪問してくれた。合弁会社を設立するという話になり、その他の利害も一致したことから、事務所は開設していないが、同社とは現在も協力をしている。

アシロフ・運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」副社長回答(※ウェビナー後に提供された追加情報):

弊社はいくつかの輸送組合に所属しており、輸送組合が弊社とアジア・極東のフォワーダーを繋いでいる。これらの輸送組合により、我々が日本からの貨物を輸送することも可能である。所属している輸送組合は、Project Cargo Network(PCN)、Majestic Global Network(MGLN)、Jetrans Logistics Network(JCtrans)、Project Logistics Alliance(PLA)、Global Logistics Alliance(GLA)。

個人企業「Berk Gerden」への質問：

道路建設などに使用する、より大きなビチューメン膜防水ロールを製造しているか。まだ製造しておられない場合、このようなタイプの製品を開発する予定はあるか。

メレドフ・個人企業「Berk Gerden」チーフマネージャー回答：

現段階では、メートル単位のロールでの生産を行っている。ただし、直径に関しては注文次第だと思う。必要があれば直径は大きくできると思う。つまりそれが利益にかなうということであれば可能だと思う。

それから、日本側からいただいたコメントに関連して、（環境関連の）証明書の取得については、欧州の組織との協力を進めている。単に国レベルの証明書を取得するのではなく、ISOの認証取得に向けて動いている。

個人企業「Berk Gerden」への質問：

生活ごみとして出された廃プラスチックを原料として利用しているとご報告にあったが、トルクメニスタンではごみの分別は進んでいるのか。また、原料の廃プラスチックは行政が回収したものを御社が有料で購入するという形で確保しているのか。

メレドフ・個人企業「Berk Gerden」チーフマネージャー回答：

現在、ごみの加工を民間企業が推進している。我々はごみとして出されたものを購入しており、そこには民間企業が集めたものも国が集めたものも含まれる。ごみの分別については、分別されたものごとの加工ができるようなごみ処理場が1棟、建設中の段階にある。

個人企業「Yyndam yollar」への質問：

鉄道輸送が専門のようだが、主な仕向け先はどこなのか。また協力を希望するプロジェクトとして車輛の購入に関心があるとのことだが、もう少し具体的な話を聞きたい。

フダイベレノフ・個人企業「Yyndam yollar」輸送部長回答：

プレゼンテーションの中でも申し上げたが、弊社では鉄道輸送がプライオリティの高い分野である。私自身を含め、職員の大部分が鉄道輸送を専門教育として受けてきた。また長年にわたって鉄道輸送の専門家として仕事に取り組み、それなりのレベルに達したため、自分たちの企業を設立したという経緯がある。

トルクメニスタンでは、民間企業で自分の車輛を所有している企業はごくわずかである。貨車の大部分は、鉄道運輸庁が所有している。そしてその貨車の大部分は、長年の使用に耐えてきた、ソ連時代から使われてきたものである。新しい貨車については、カザフスタンやウズベキスタン、あるいはロシアからリースしているものである。つまり我々が所有している貨車ではなくリースであるため、そのコストがある程度価格に反映されてしまうことになる。自社で貨車を所有するより高い料金を顧客に提示せざるをえなくなる。輸送単価として15～16万ドルになってしまう。そこで、我々は発展計画を策定し、パートナーあるいは投資家を探したいと考えている。我々が具体的な数字、いつになれば投資資金を回収できるかということを書いたビジネスプランを提示し、それをしっかり守るべくともに努力をして、協力をするのであればと思っている。貨車の製造については、カーリーニングラードの機械製造工場などと話を進めている。同工場は世界的に見てもかなり規模の大きな工場である。

このほか、建材あるいは建設関係の貨物を運ぶための専用貨車というものもある。国の2024年までの建設計画に沿った大規模なプロジェクトがいくつか存在しており、現在建設中の都市や様々な対象物がある。このような大規模なプロジェクトに我々が関与して輸送を行う場合、現状でも多いのだが、今後も相当量のバラ積み貨物が出てくると考えている。つまり、ダンプカーで貨車に積み込み、貨車からさらに積み出しを行うことが予定されている。いずれにしても鉄道輸送が今後も続くため、投資家を探すというのが我々にとって目下の課題となっている。

企業体「Terne Logistics」への質問：

ご報告のスライドの中に中国への商品買い付けというのが見えた。これは御社が代行するということか。また、御社は自動車や食品など様々な分野の顧客がおられるようだが、全体として取り扱いが最も多い、特に得意とするのはどのような貨物か。



アクマメドヴァ・企業体「Terne Logistics」物流担当部長回答：

主な貨物については、自動車や家電など様々。食品ももちろんある。家電は我々の強みかと思う。衣類も取り扱っている。つまり、あらゆるものを扱っていると申し上げたい。

中国への買い付けについては、アリババと協力して行っているものである。顧客から商品の問い合わせが来たら、発注情報を仲介してアリババに伝えている。

運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」への質問：

エネルギー企業がメインの顧客のようだが、他分野の顧客はどのくらいいるのか。また、トラック輸送の話が出てきたが、自社のトラックを所有しているという理解でよいか。所有している場合、どのくらいの台数なのか。

アシロフ・運輸・物流企業「Hazar-Tolkuny」副社長回答：

弊社の取り扱い貨物のうち50～60%がエネルギー関連（石油・ガス分野）の貨物であり、残りの約40%が一般消費材などその他の貨物となっている。この顧客には外国企業も含まれる。

輸送手段については、トラックを6台、それから特殊車両も何台か所有している（リフト付き車両2台など）。

◆ビデオツアー「トルクメニスタン3企業へのバーチャル訪問」

(1)個人企業「Ak-Gaya」

【企業紹介ビデオ内容】

モルタルと石膏ボードの工場「Gaya」にようこそ！工場の年間生産能力は石膏ボードが800万㎡、ドライモルタルが7万8,000 tである。工場にはスペイン、トルコ、中国で製造された最新鋭の設備を備えている。工場で作られる製品はすべてGOST規格、国際規格、国家規格に適合したもので、環境性能と火災安全性に対する要件を満たしている。工場の設備は最新の要件を満たしている。完全に自動化された製造工程では原料検査から製品の定期検査まで、段階をおった管理を実現している。顧客のもとに出荷されるロットは、さらに1つひとつ検査がされている。分析室のスタッフは常日頃から研究開発に取り組んでいる。新素材・新技術の開発に関連するデータを収集して情報分析を行い、独自の革新的な手法を検討し、製造プロセスの改良に努めている。

製品のブランド名は「Gaya」。「Gaya」ブランドのラインナップは漆喰、パテ、石膏、機械練り漆喰、そして石膏ボードである。石膏ボードはスタンダード・耐水性・耐火性の3種類がある。製品はロシア、カザフスタン、タジキスタン、アゼルバイジャンなどのCIS諸国に輸出されている。弊社は建材市場に進出してまだ数年だが、すでにお客様からの信頼をいただいている。高い品質と互恵的な取引への姿勢を高く評価いただいている。



プレゼンテーション「『GAYA』—快適さと高品質の統合」 ドブレト・アジゾフ社長補佐

我々「Ak-Gaya」はドライモルタル類や石膏ボードを生産している。年間生産能力は石膏ボードが800万㎡、ドライモルタル類が7万8,000 tである。我々の工場はスペイン、トルコ、中国で製造された最新鋭の設備を備えている。製品はいずれもGOST規格に適合しており、産業安全性、環境安全性、防火安全性への配慮がなされている。工場の設備は最新の要求事項を満たしており、完全に自動化された製造工程では、原料の入口検査から定期的なラボ分析まで、段階をおった管理が実現されている。お客様のもとに出荷されるロットはその上でさらに1つひとつ検査がなされている。

建材市場に進出してまだ数年だが、優れた品質、そして確実かつ互恵的な取引姿勢を高く評価していただいている。製品はCIS諸国、例えばロシア、カザフスタン、タジキスタン、アゼルバイジャンなどの国々に輸出している。

製品をご紹介しますと、まず「SIVAパーライトプラスター」は堅牢性、表面剛性が高く、素晴らしい接着力がある。不燃性のある素材である。また通気性があるため、室内環境をより健康的なものにすることができる。真菌、カビ、細菌を増殖させず、抗真菌作用がある。

次に、「SATEN仕上げパテ」は接着力が高くあらゆるタイプの塗装に適合する。石膏ボードの表面に使用することもできる。長時間の使用ができ可塑性が高いため、塗布の際の無駄を最小限にすることができる。また特殊な添加剤が使用されており、水分の吸収を遅らせる特殊な効果がある。通気性があり湿度が調整され、環境をより健康的なものとする。キメの細かい仕上げを保証する。

「KARTONPIYER石膏」は、スタッコ仕上げや、親柱、壁付け燭台、塑像といった装飾的要素の制作に用いる石膏である。攪拌が容易で、固まるまでの時間が長いいため無駄を少なくすることができる。通気性があるため、湿度を調節して環境を健康的なものとする。

「MAKINE SIVA機械塗り漆喰」は石膏をベースとして調製された袋入りの機械塗りパテである。この一層で塗装面が準備できるため、SATENパテが必要なくなる。レンガやコンクリート、気泡コンクリート、軽石などの素材上に直接使用することができる。硬度が高く光沢のある表面とすることができる。不燃性のある素材で、水分を含むため耐火性がある。また通気性があることから、湿度を調節して環境を健康的なものにする。

我々が製造する石膏ボードは、壁および天井の仕上げに用いられ、耐火性、装飾性、吸音性を発揮するものである。石膏ボードは現場の労働生産性を顕著に高めるべく、あらゆる規模の建築上のタスクや幅広い建築ソリューションの実現に貢献している。また曲線構造を考慮した

場合、建築物の建造を簡略化することによって総工費を引き下げることができる。

標準型の「石膏ボード（Aタイプ）」は、低湿度ないし標準湿度の建物に使用することができる。耐湿性をもつ「石膏ボード（タイプH2）」は、標準型石膏ボードに特殊な防湿・抗真菌性添加物を加えたものである。標準型と同様に排気口がある建物において、被覆を保護した状態で、低湿度または標準的湿度の条件のもとで使用することができる。耐火性をもつ「石膏ボード（タイプF）」は、標準型および耐湿性の石膏ボードに特殊な添加物を加えたもので、フェルトタイプの繊維で製造されている。耐火性を有する。低湿度ないし標準湿度の建物に使用することができる。サイズは9.5mmおよび12.5mmがある。



GaYa

AKGAYA

Our company provides customers with more than 10,000 varieties of building materials and hardware. Individual Enterprise Akgaya - official dealer of the major manufacturers of building materials Turkey and China in Turkmenistan.

TKM
MADE IN TURKMENISTAN

質疑応答

質問:

輸出先としてロシアやカザフスタンなど寒い国々が入っているが、御社の製品の耐寒性はどうか。

回答:

耐寒性は非常に高い。例えば標準的な石膏ボードで言えば、カザフスタンのセメイやアクタウなどの研究所の分析で良い評価をいただいている。かなりの期間輸出を行っているが、一切苦情が出たことはない。

質問:

御社の展示コンテンツを拝見したところ、2020年8月にバルカン州に新工場ができたとあった。この新工場を含めて、今後の事業拡大の展望があればお聞きしたい。

回答:

現状では距離的に近いということでCIS諸国に輸出をしているが、将来的には欧州市場への進出をしたいと考えている。また我が国から遠いアジアの国々の市場にも進出したいと思っている。そのため、生産量も大きく伸ばしていきたい。そして輸出量も現状より大幅に増大させたいと思っている。

質問:

新工場をバルカン州に建てたのは、原料調達の観点からのメリットによるものか。それとも海に近いということで輸送の観点から選択したのか。

回答:

なぜバルカン州を選んだかであるが、まず原料の調達地であるからだ。石膏はバルカン州でよく産出される。また港があるため顧客の皆様にとっての最終価格としてより良いものを提示することができる。両方の意味でとても便利な場所のため、バルカン州に新工場を建設した。

質問：

御社の展示コンテンツを拝見したところ、国内最大のDIY用建材チェーン店を所有されているという情報があった。国内に何店舗くらいあるのか。

回答：

アシガバード市に大型店が2店舗、そのほかアハル州に1店舗、バルカン州トルクメンバシ市に1店舗ある。以前、建材の転売を行っていた際に結果が出たため、弊社のトップが自社で製品を生産することに切り替えることを決めた。

質問：

御社の所在地が「産業家・企業家同盟に割り当てられた産業ゾーン」であるが、これは経済特区のことなのか。経済特区である場合、企業にとってどのような良い点があるのか。

回答：

この特区にはかなりのトルクメニスタン企業が入居しており、弊社はその場所にオフィスをもっている。生産はトルクメンバシ市で行っており、私自身も現在トルクメンバシにいる。私はオフィス勤務ではなく工場で勤務している。そのため私はこの件についてあまり情報を持っておらずあまりお話しすることができない。アシガバード市には別の担当者がある。私はトルクメンバシで実際に製造を行っている工場の責任者である。

(2)企業体「Ak Bulut」

【企業紹介ビデオ内容】

2015年創業の「Ak Bulut」は、トルクメニスタンで最初に吊り天井やプロファイル建材の製造を開始した。現在、様々なタイプのビニールコーティング石膏天井やアコースティック吊り天井、アルミ吊り天井のほか、それらの据付に必要な部材や付属品も生産している。創業以来の6年間で年間生産能力は、吊り天井が400万㎡、亜鉛めっきのプロファイルは7,000 tに到達した。弊社の製品は全国どこにでもお届けすることができる。お伝えしたい重要なことは、弊社の多くの製品の製造に地元産の環境に優しい原料を使用しているということだ。2021年に弊社はISOの認証を取得した。品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステム、労働安全衛生マネジメントシステムの3つである。これは世界標準に則って事業を展開していくという弊社の考えを表している。尊敬する大統領の指導のもと、トルクメニスタンは国自体が巨大な建築現場となった。

「Ak Bulut」は事業に大きく貢献しながら、全国各地の大規模な建設プロジェクトへの積極的な参加を続けており、国の内外を問わず、多くの建設会社との間に協力関係を築いている。建築市場の様々な部門に弊社のパートナーがいる。例えばヘルスケア、教育、文化の分野の国営企業や公共の建物・住宅の建築・デザイン・設計・施工を専門とする企業、安全性に対する高い要件が課される卸売・小売りの商業施設などである。

国内企業の輸出力拡大を目指すという尊敬する大統領の政策に沿って、弊社は世界市場での競争力強化を戦略の1つとしている。製品が世界標準に適合しているからこそこれが可能なのである。弊社が輸出先としてすでに長期的な取引関係を築いているのはウクライナ、キルギス、アゼルバイジャンの企業で、今後はウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタンへの輸出も予定されている。

「Ak Bulut」の販売スタッフは、常日頃からお客様のお手伝いを心がけている。材料を選ぶだけではない。必要に応じて、部品を含めた天井全体や、それに取り付ける照明もすべてを考慮して積算を行う。配送部門と在庫管理部門では、必要な量の品物を定められた期限までに確実に出荷する。なぜなら「Ak Bulut」のスタッフが目指すのは、顧客にいつでも確実に高い専門性をお届けすることだからだ。吊り天井の総合的ソリューションの提案を通じて、輸入代替製品の生産を推進することが弊社の大きな課題の1つである。製品の品質、安全性、そしてクリーンであることに細心の注意を払っている。

「Ak Bulut」は皆様との協力と経験の交流をいつでも歓迎する。そして弊社の事業におけるあらゆるレベルの業務の実現に取り組んでいく。



プレゼンテーション「Ak Bulut社の歴史」 アタムラト・モマドフ販売マネージャー

「Ak Bulut」は2015年に設立された、トルクメニスタンで吊り天井と吊り天井材システムの製造を開始した最初の企業である。ビニールコーティングされた吊り天井、音響効果の処理がされた吊り天井、アルミニウム吊り天井、石膏天井など、様々な種類の製品を製造している。それらの組み立てに必要な吊り材や部品も製造している。これまでに活動してきた6年間で、潜在的な生産量は、吊り天井が年間400万㎡、亜鉛金属吊り材が7,000 tに達し、国内における製品流通を確立した。我々の製品は、建設会社など多くの様々な企業に買っていただいている。

先ほどビデオでもご覧いただいたが、ビニールコーティングの吊り天井をはじめ、様々なデザインの製品がある。ここで申し上げたいのは、ほとんどの製品の製造で国産の環境に優しい原材料を使用しているということである。

2021年には、品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステム、労働安全衛生マネジメントシステムのISO認証を取得した。このように国際基準に従って活動を行っている。

尊敬するトルクメニスタン大統領の主導により、トルクメニスタン自体が巨大な建設現場となった。そこで「Ak Bulut」は多大な貢献をしている。全国の大規模な建設プロジェクトに積極的に参加し、多くの国内外の建設会社と協力している。パートナーには、国有企業、特に医療、

教育、文化の分野、また行政用の建物や住宅の建設・設計に専門的に従事する企業、さらに卸売・小売業の分野の企業がいる。

地元生産者の輸出ポテンシャル開発を目的とした、我々の尊敬する大統領の方針に従い、我々が戦略的発展の一部としているのが、国際市場での競争力を高めることである。現在、我々はウクライナ、キルギスタン、

アゼルバイジャンのパートナーとの長期的な輸出協力をすでに維持している。また、ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタンへの輸出拡大も計画されている。

「Ak Bulut」の専門家は材料を調達するだけでなく、必要に応じてシーリングシステムや照明設置の設計なども行うことができる。常にサポートの準備ができています。輸送・物流部門や倉庫スタッフは、適切な量を時間どおりに出荷する。クライアントのために信頼性、安定性、専門性を保証するよう努めている。

吊り天井システムの総合ソリューションを提供している弊社の主な任務の1つは、品質、安全性、環境条件に細心の注意を払いながら、輸入代替製品の生産を開発することである。

我々「Ak Bulut」は常に協力・経験の交換にオープンであり、あらゆるレベルの協力の準備ができています。



質疑応答

質問:

スライドにスマートシーリングと記載があったが、どのようなことを計画しているのか。

回答:

現在、外国企業との多くの共同事業を行っているが、中国のパートナーがメインである。その内の1つがスマートシーリング、つまりスマートホーム事業である。これは音声により照明のオン・オフができるようになるもの。中国の技術関係の大手企業と協力で事業を進めている。現在はまだ開発段階にあり、どのような方向性で事業を進めていくかを詰めているところである。今後パートナー会社も広げていきたいと考えている。皆様にプレゼンテーションを行うことができる機会が早く来れば良いと思っている。

質問:

使用している原料全体のうち、輸入品はどのくらいなのか。また、金属類はどこから輸入し

ているのか。ビニールや石油化学製品は国産のものか。

回答：

吊り天井の部品に使われているアルミニウムや亜鉛などの金属原料は中国から輸入しており、複数の企業とお付き合いしている。天井材については、石膏ボードに使用する石膏のうち85%が国産原料である。石膏の吊り天井、つまり音響用吊り天井やビニールコーティング吊り天井も主な材料は石膏であり、特別な石膏と段ボールシートを使用している。残りの15%となるビニールやアルミホイルは輸入しているが、主な原料は国内メーカーから仕入れている。

質問：

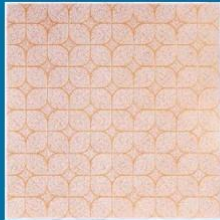
ご報告の中で、地元産の環境に優しい原料を使っているとあったが、どのようなものを使っているのか。御社の製品で環境面に気を遣っている点はどのようなところか。

回答：

石膏について、国産の環境にクリーンなものを使用している。耐火性についても認証を得た、環境的にも清浄な原料を使っているというのが具体的な答えになる。



吊り天井の製造 ビニール被覆吊り天井



238-G ALTYN ÝAPRAK



238-S KÜMÜŞ ÝAPRAK



255 SEKİZBURÇ



631 BERYÖZA

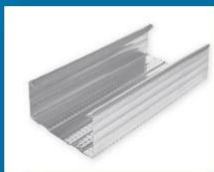


991 DAMJA

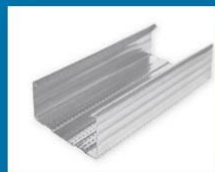


996 ÇYZGY

壁面および石膏ボード用プロファイル建材



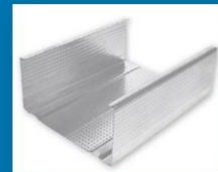
天井用プロファイルC



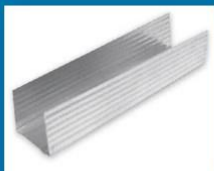
壁面C-50



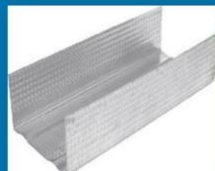
壁面C-75



壁面C-100



耐力T型プロファイル



壁面U-50



壁面U-75



壁面U-100

(3)企業家アシラリエヴァ・シェムシャト(商標『Cigildem』)

プレゼンテーション「高品質で快適なわたしたちの家具」 オラズタチ・フダイヤロヴァ販売マネージャー

遠い昔から、人々は自分たちの住まいを整えることに熱中してきた。そして時を経た現代、世界の家具製造業は極めて高いレベルに達している。我々のブランド「Cigildem」は2014年以来、トルクメニスタンにおいて同分野での事業成果を挙げてきた。

「Cigildem」の工場は、高品質の外国産材料を用いて様々な形状、寸法、デザインの各種家具製造を専門的に行っている。キャビネットタイプ、ソフトタイプ、布張りの家具、またドア類も製造している。我々は自社の製品に100%の責任を負っている。

「Cigildem」は全国に販売網をもち、家具・ドア類のほか、幅広い品揃えのキッチン用コンロも提供している。キッチン用コンロの生産能力は年間1万台である。「Cigildem」では整形外科的見地に則った各種のマットレス、クッション、ブランケット類、付属繊維製品の販売も行っている。それに関連するサービスも提供している。



質疑応答

質問：

品質保証とメンテナンスサービスについて、製品の保証期間はどのくらいか。壊れた場合の修理サービスも御社で行っているのか。

回答：

例えば、キッチン用コンロの保証期間は1年間で、保証期間の（修理）サービスは無償で行っている。ソフト家具については、3年間の保証期間である。

質問：

ビデオでデザインを拝見し、かなりラグジュアリーなデザインだという印象を受けたが、販売先のターゲットは一般住宅ではなくホテルなどがメインなのか。

回答：

ソフトタイプの家具については、アルカダグホテルやガラグムホテルなど、主にホテルを対象に製造を行っている。トルコのルネサンスグループやチャリクエナジーとも協力しており、これらの企業向けのオフィス家具も製造している。

質問：

商品の価格はどのくらいなのか。アッパークラス向けなのか。

回答：

材料とデザインによるが、ラグジュアリーなソフトタイプ家具だと3,000ドル～の価格体系となる。5,000ドルや1万5,000ドルなど。繰り返しになるが、素材、デザイン、モデル次第である。また、発注を受けた数にもよる。

質問：

材料は外国産のものを使っておられるようだが、デザイナーはトルクメニスタンの方なのか。

回答:

地元のデザイナーだが、海外で学んだデザイナーを起用している。

質問:

どこで御社の製品を見ることができるか。ショールームなどはあるのか。

回答:

まずは当社のウェブサイトでご覧いただける。店舗に直接お越しいただければ、喜んで商品をお見せする。店舗はアシガバード市をはじめ、全国すべての地域にある。

質問:

最もメインとする生産工場はどこにあるのか。

回答:

アシガバード市である。



4. オンラインイベント参加者アンケート結果

CAVEX IIトルクメニスタンナショナルウィーク・オンラインイベント (2022年2月16日) 参加者アンケート集計結果

2022年2月
(一社)ロシアNIS貿易会(ROTOBO)

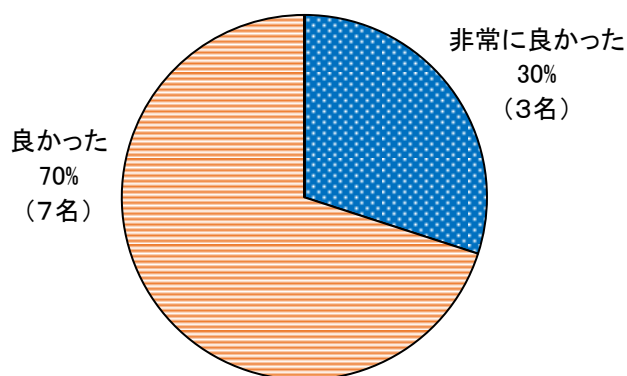
I. 回答者数

回答総数10件。

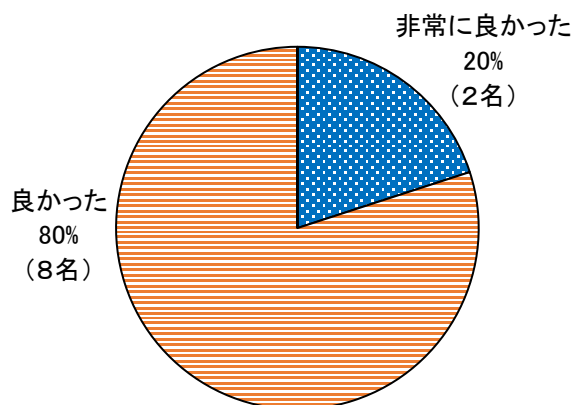
II. 設問への回答

ウェビナー「日本とトルクメニスタンの貿易・投資関係のさらなる発展の可能性」

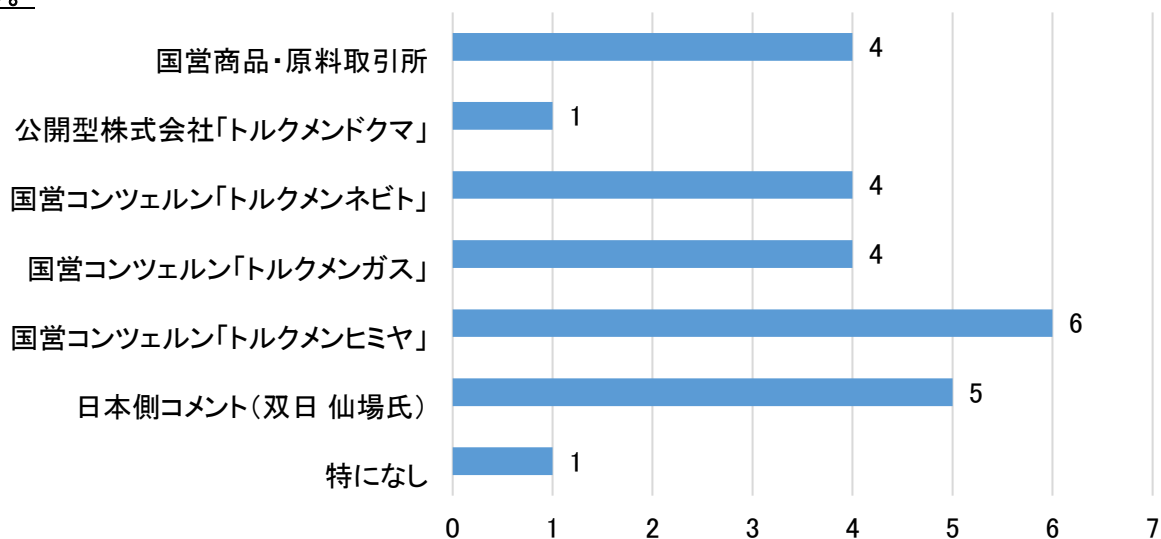
1. ウェビナー「日本とトルクメニスタンの貿易・投資関係のさらなる発展の可能性」全体の評価をお聞かせください。



2. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



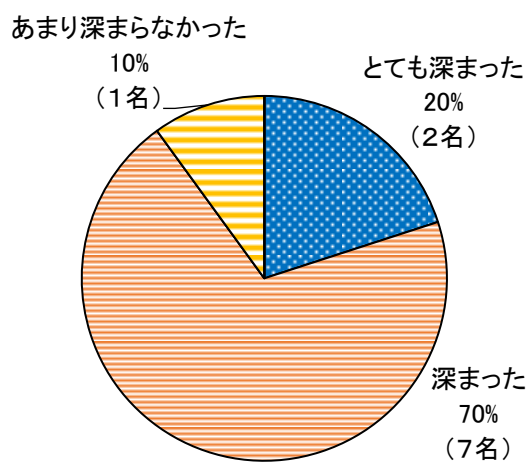
3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



4. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

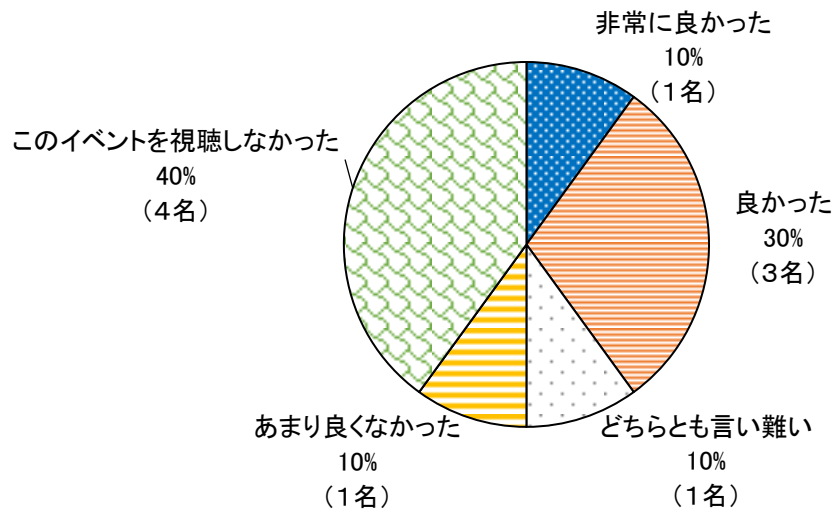
- ガスのダウンストリームビジネスには興味を持つ日本企業がありそう。
- プレゼンテーションの内容よりさらに詳細な情報があれば入手したい。
- 明確な目的を持つ非常に興味深い報告だった。（※事務局仮訳）

5. 本日のウェビナーを視聴して、トルクメニスタンの投資環境や同国との貿易に関する知識は深まりましたか。

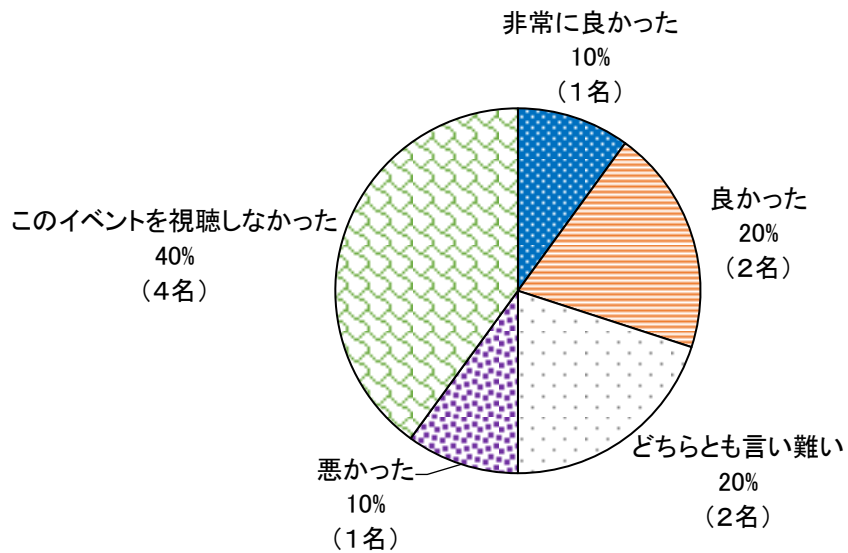


「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第1部」

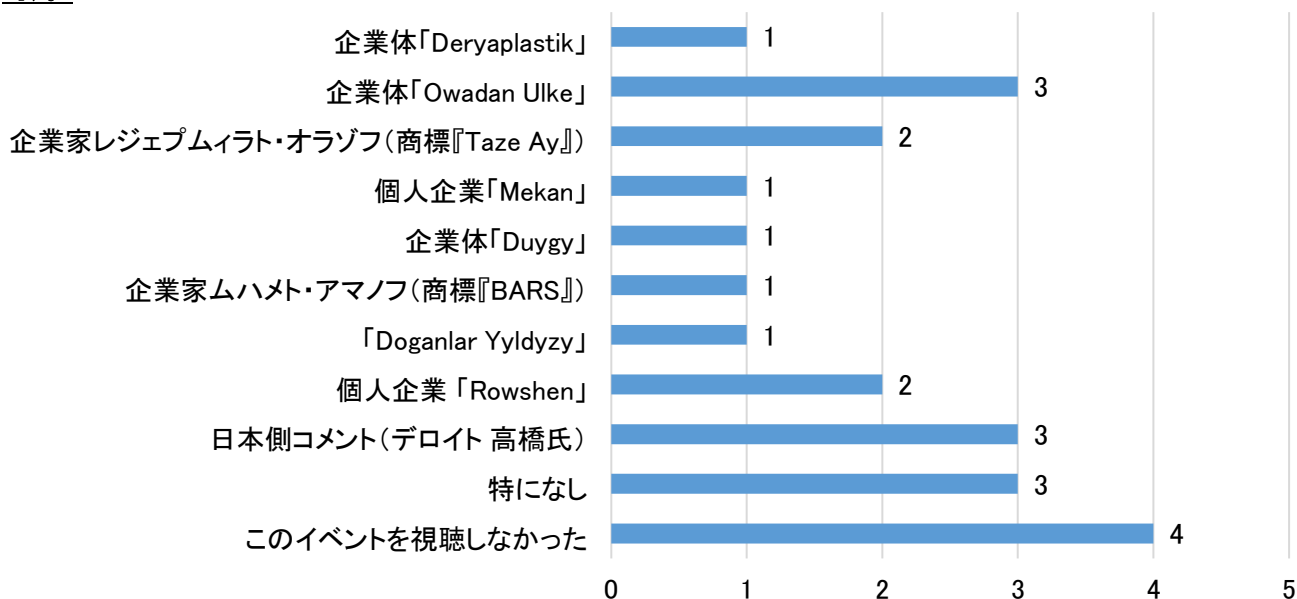
6. 「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第1部」全体の評価をお聞かせください。



7. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



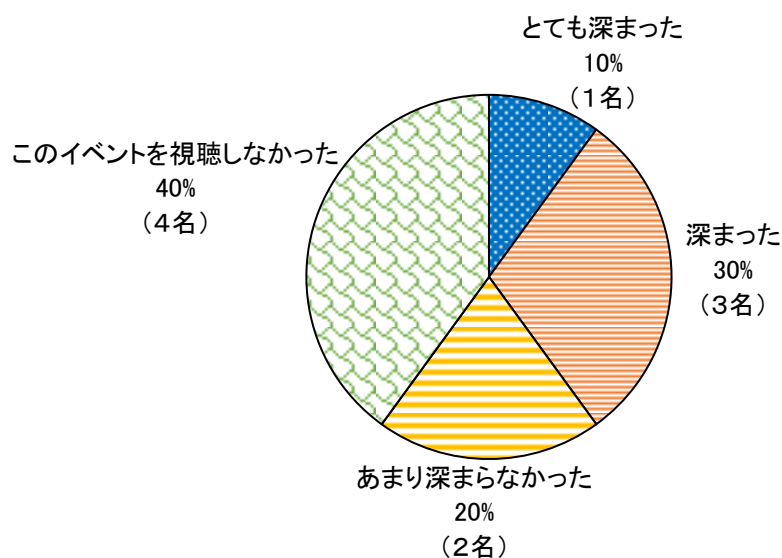
8. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



9. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

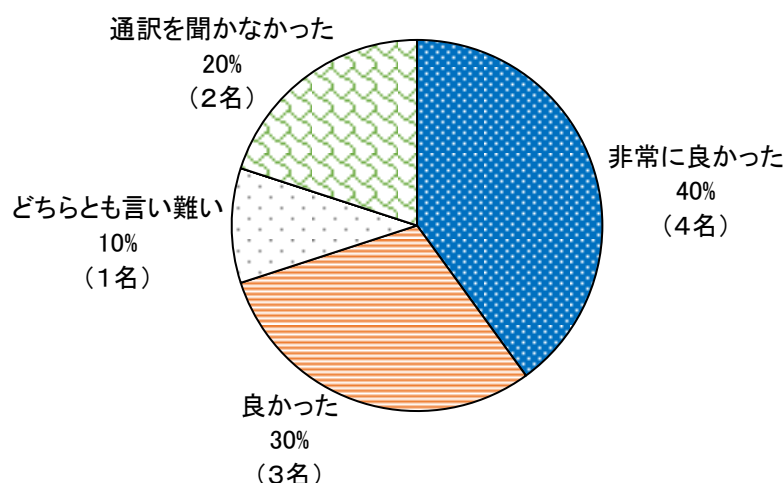
- すべての企業の責任者に対し、このようなイベントへの準備をしかるべく行い、十分に価値のある対話を可能にするため、より精通した専門家や責任者を送り込むよう、あるいは関心を示す投資家のすべての質問に答えられるようお伝えいただきたい。（※事務局仮訳）

10. 本日のプレゼンテーションを視聴して、トルクメニスタン企業・ビジネスに関する知識は深まりましたか。

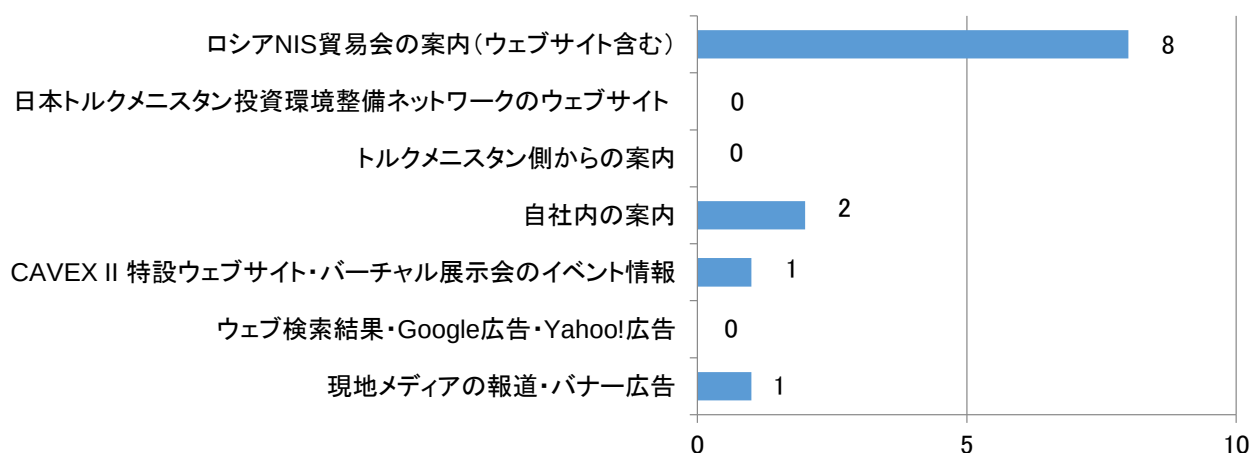


その他共通質問

11. 通訳の評価についてお聞かせください。



12. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



13. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

- 通して日系企業による投資を呼び込みたいとの事だったが、直接投資に係る法整備をどのように行っていくのか等の政策内容およびマイルストーン（時間軸）を公表すると分かりやすいと思う。また、コンツェルン夫々案件計画があるようだが、先に申し上げたとおり、トルクメニスタン政府含め戦略計画が分かりにくいいため、詳細に示すと日系企業側には取り組み易いと考え。
- コロナ禍で現地での情報収集が難しい状況のため、引き続き現地側とコミュニケーションが図れるこのようなイベントを定期的の実施いただきたい。
- 以前は国営企業の情報しかなかったが、民間企業が順調に増えている印象を受けた。
- このようなイベントに参加できて嬉しく思う（私にとっては初めて）。このようなオンラインプラットフォームの会合やフォーラム、展示会がより頻繁にあると良い。私は日系企業のトルクメニスタン支店の責任者で、私自身も多くのトルクメニスタン企業との協力を望んでいる。（※事務局仮訳）

CAVEX IIトルクメニスタンナショナルウィーク・オンラインイベント
(2022年2月17日)
参加者アンケート集計結果

2022年2月
(一社)ロシアNIS貿易会(ROTOBO)

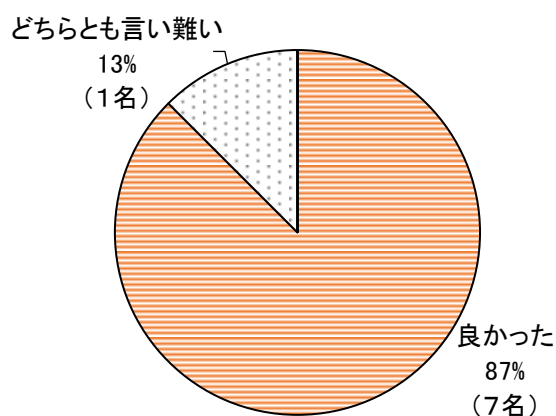
I. 回答者数

回答総数8件。

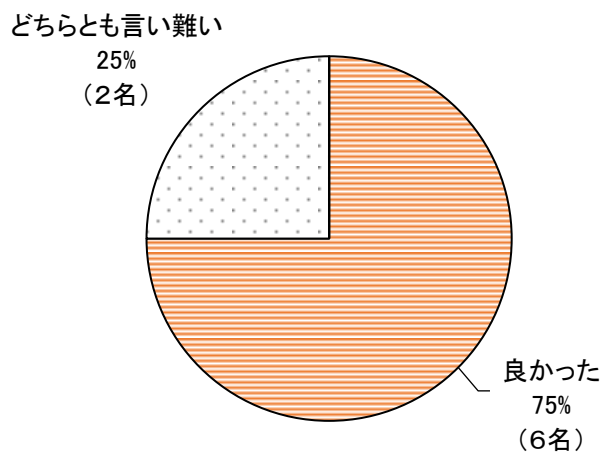
II. 設問への回答

「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第2部」

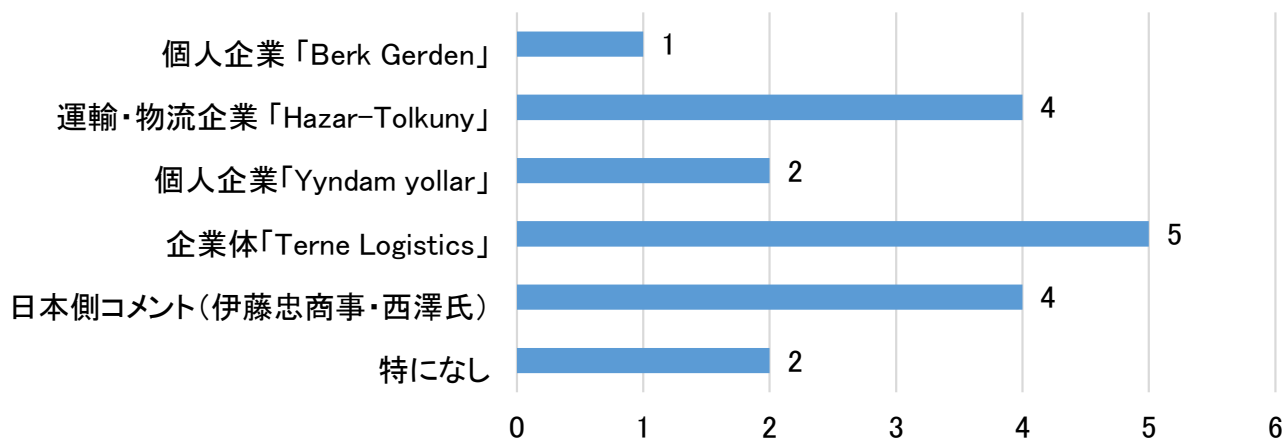
1. 「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション：第2部」全体の評価をお聞かせください。



2. プログラム（テーマ設定、報告者の構成等）の評価をお聞かせください。



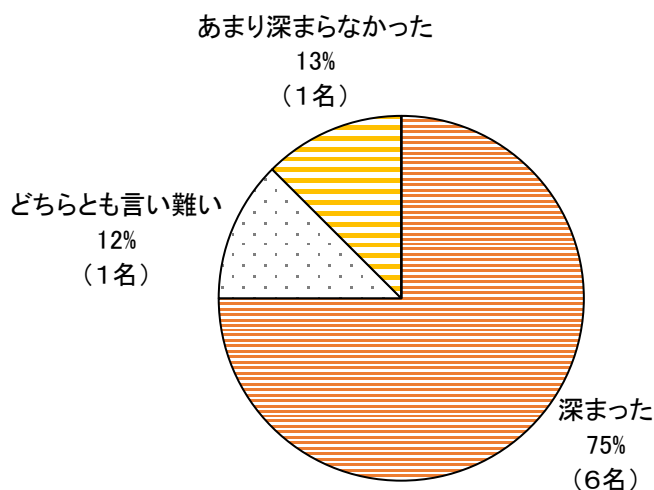
3. ご視聴になった報告の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



4. 上記報告についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

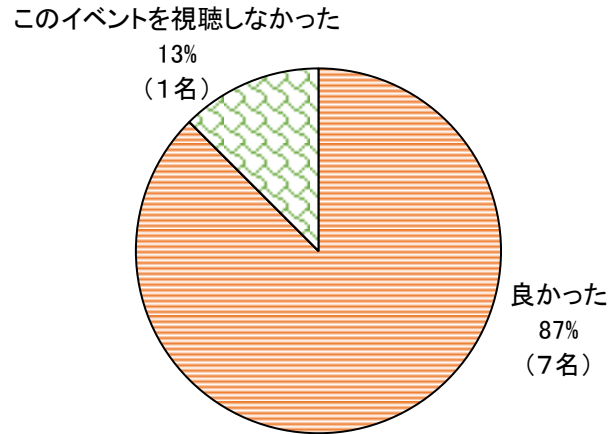
- トルクメニスタンとの貿易は物流面の問題が一番大きいと改めて感じた。
- 現地側のネット環境によるものであるかと思うが、音声聞こえない、またはプレゼン資料がフリーズして口頭説明とリンクしない場面が多々見受けられたように思われる。次回のバーチャル展示会で同様のプレゼンテーションが実施される場合には、あらかじめプレゼンテーションの録画を準備して当日放送し、質疑応答のみライブで実施するといった形式で進められてはいかがかと感じた。

5. 本日のプレゼンテーションを視聴して、トルクメニスタン企業・ビジネスに関する知識は深まりましたか。

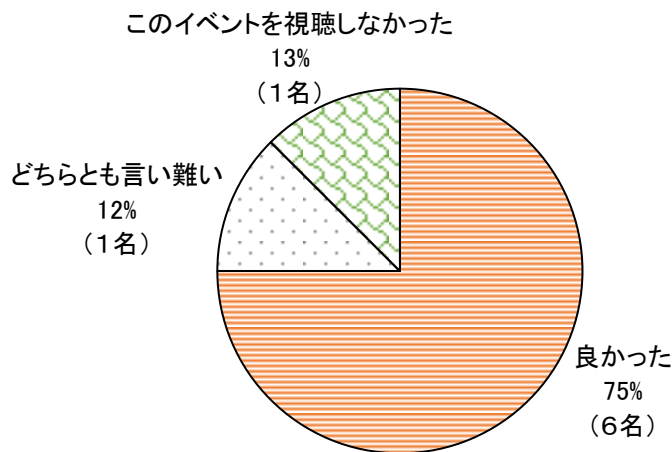


ビデオツアー「トルクメニスタン3企業へのバーチャル訪問」

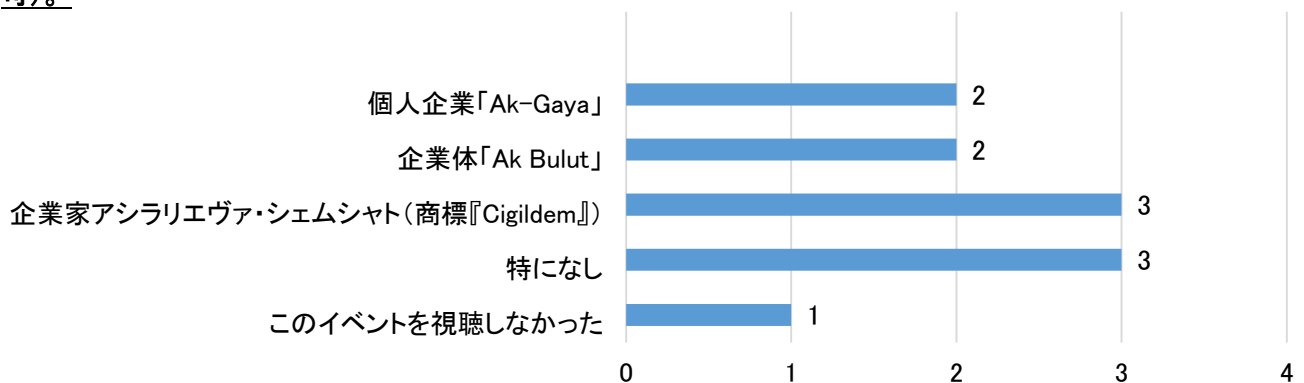
6. ビデオツアー「トルクメニスタン3企業へのバーチャル訪問」全体の評価をお聞かせください。



7. プログラム（テーマ設定、参加企業の構成等）の評価をお聞かせください。



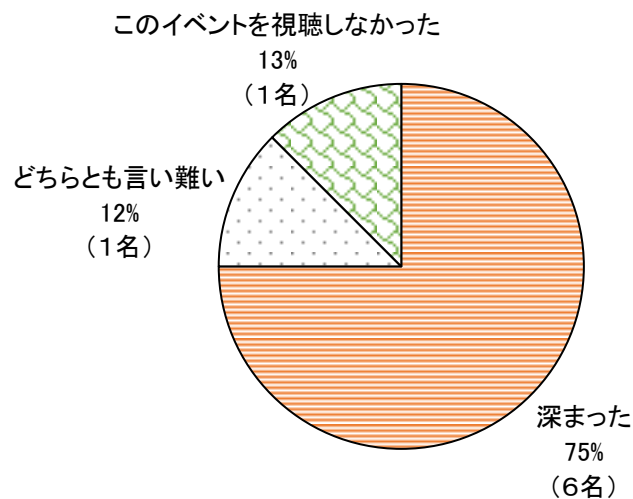
8. ご視聴になった企業の中で、参考になった・有益であったものを以下よりご選択下さい（複数選択可）。



9. 上記参加企業についてご意見、ご感想等あれば自由にご記入ください。

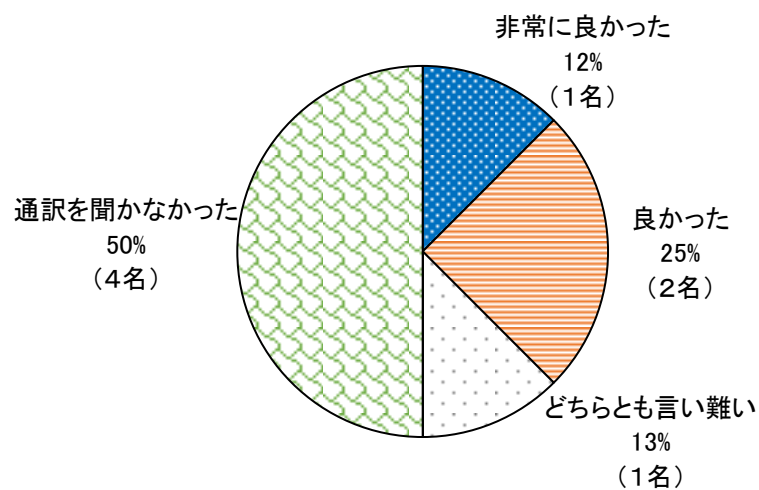
- Gigidemの家具は、高級感はあるが未だ一般庶民向けではないと感じた。

10. 本日のオンライン企業訪問を視聴して、トルクメニスタン企業・ビジネスに関する知識は深まりましたか。

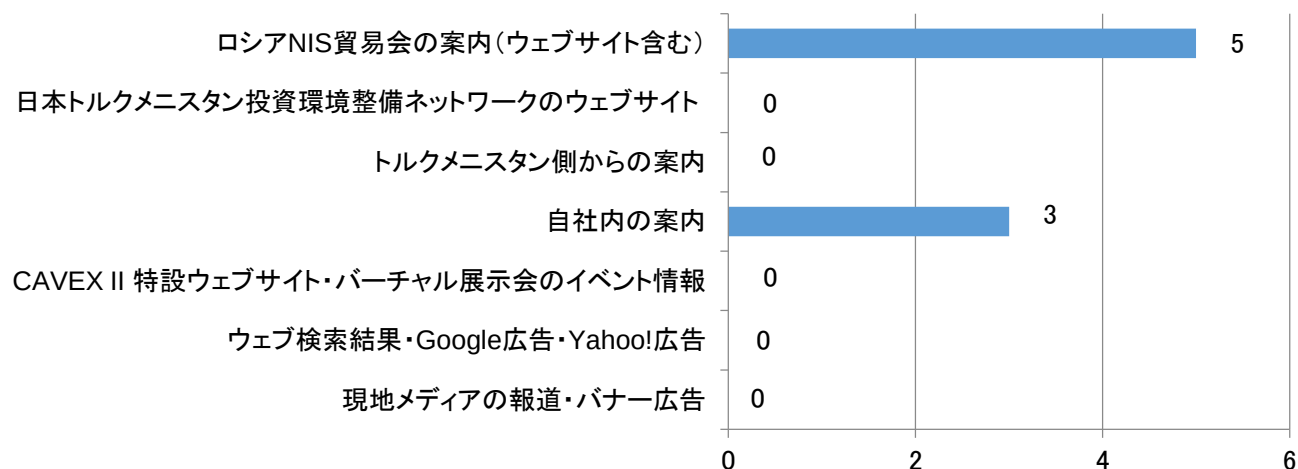


その他共通質問

11. 通訳の評価についてお聞かせください。



12. 本日のオンラインイベント開催について、どこで知りましたか。以下より回答を選択してください（複数回答可）。



13. その他本日のオンラインイベント全体を通じてのご意見やご感想、あるいは今後の中央アジア関連のイベントに対するご要望、ご提案がありましたら以下自由にご記入ください。

- 中央アジア諸国の経済特区の紹介ビデオと世界遺産のバーチャル・ツアーを企画してほしい。
- トルクメニスタンは人工的で人がいない印象があり現地生活のイメージがわからないため、実際の状況を見ることができるビデオは有力だと思う。